

第41回秋田県優良工事表彰 第6回秋田県優良業務表彰



令和2年8月
秋 田 県



表紙：第41回秋田県優良工事表彰から

秋田県立総合射撃場

狩猟技術訓練施設整備工事 SK30-10

第41回秋田県優良工事表彰式 第6回秋田県優良業務表彰式

とき 令和2年8月31日(月)

午後3時30分～4時30分

ところ 秋田県庁正庁

次 第

1. 開式のことば
2. 式辞 知事
3. 来賓祝辞 県議会議長
4. 審査報告 建設部建設産業
振興統括監
5. 表彰状授与(工事) 知事
6. 受賞者謝辞(工事) 受賞者代表
7. 表彰状授与(業務) 知事
8. 受賞者謝辞(業務) 受賞者代表
9. 閉式のことば



第41回秋田県優良工事表彰から

左上：上西山地区 防災林造成工事 RC1103A011

右上：八郎潟1期地区 基幹水利施設ストックマネジメント工事 03204-K01

下：上溝川 河川災害復旧助成工事 30-KJ10-10

目次

・お祝いの言葉	2
・第41回秋田県優良工事表彰及び 第6回秋田県優良業務表彰について	3
・第41回秋田県優良工事表彰工事一覧表	4
・表彰工事の概要	6
・秋田県優良工事表彰選考委員会及び幹事会名簿	46
・秋田県優良工事表彰要綱	47
・第6回秋田県優良業務表彰業務一覧表	48
・表彰業務の概要	49
・秋田県優良業務表彰選考委員会及び幹事会名簿	60
・秋田県優良業務表彰要綱	61



秋田県知事
佐竹 敬久

お祝いの言葉

秋田県優良工事表彰及び秋田県優良業務表彰を受賞されました皆様に対し、心からお祝い申し上げます。

優良工事表彰制度は、県内建設企業の技術力の向上を目的に、昭和55年に創設され、今年度で41回目を迎えました。今回受賞された40件は、対象となる1,793件の工事から選定されたもので、優れた施工技術と綿密な施工管理のもとに完成した工事であります。

また、優良業務表彰制度は、測量や調査・設計に携わる県内企業の技術者の確保・育成を図ることを目的に平成27年度に創設され、今年度で第6回目の表彰を迎え、土木設計業務部門では県外企業が実施した業務も新たに表彰対象といたしました。今回受賞された11件は、835件の業務から選定され、いずれも、豊富な知識と優れた技術により完了した業務であります。

建設産業は、地域の生活や産業活動を支える社会資本整備の担い手としてだけではなく、県民の安全・安心な暮らしを守る地域防災の担い手として、また、地域の経済と雇用を支える基幹産業として重要な役割を果たしております。

県では、今後とも、県内建設関連企業の受注機会の確保や、建設ICTなど新技术・新工法導入等による活動領域の拡大を支援するとともに、技術・技能の継承や安定的な事業運営が図られるよう、若者や女性などの建設人材の確保・育成や、建設現場における生産性向上に向けた取組を推進してまいります。

受賞された皆様をはじめ、建設産業に携わる皆様におかれましては、今後とも「ふるさと秋田」の更なる発展のため、一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます、お祝いの言葉といたします。

第4 1回秋田県優良工事表彰及び第6回秋田県優良業務表彰について



秋田県優良工事・優良業務表彰幹事長
秋田県 建設部 建設産業振興統括監
佐藤 和義

秋田県優良工事表彰は、建設技術の向上を図ることを目的に、県発注工事の中から特に優秀な工事を選定し、これを施工した県内企業と技術者を表彰するもので、表彰には、「優良工事表彰」と、単独企業として優良工事表彰5回目、10回目の受賞者に与えられる「特別表彰」があります。

今回は、令和元年度に完成した工事の中から、40件を優良工事として表彰し、その内訳は、単独企業受賞が35件、共同企業体受賞が5件となっているほか、特別表彰として、受賞企業全39社のうち、10回目の受賞として1社を、5回目の受賞として4社を表彰するものです。

これらの工事は、自然条件や施工上の制約が厳しい中、優れた技術力と創意工夫により工事を完成させているほか、品質確保や、安全対策においても高く評価されたものであり、そのご努力に対し敬意を表するものであります。

また、業務については、平成27年度に、測量や調査・設計に携わる企業の技術者の確保・育成を図ることを目的に、秋田県優良業務表彰を創設しております。

今回は、令和元年度に完了した業務の中から、11件を優良業務として表彰いたしますが、これらの業務は専門技術力や品質管理能力等が特に優れており、他の模範となるものであります。

受賞された皆様には、今回の表彰を機に、建設ICT推進に向けた積極的な取組や、維持管理時代に即応した新たな技術の習得など、今後とも一層の技術の研鑽と創意工夫に努められ、地域社会に貢献されますことを期待申し上げます。

第41回秋田県優良工事表彰 工事一覧表(1/2)

番号	特別表彰	工事名 (路河川名)	工事箇所	施工業者	代表者名	発注公所
1		花輪大堰地区 ため池等整備(用排水)工事 01103-K01	鹿角市 花輪	株式会社村木組	村木 通良	鹿角地域振興局
2		米代川 県単河川改良工事(自然災害防止債) 01-K103-10	鹿角市 八幡平	株式会社柳沢建設	柳沢 義生	鹿角地域振興局
3		米代川 河川災害復旧工事 30災0129-10	鹿角市 花輪	株式会社米村組	米村 茂	鹿角地域振興局
4		立又鉱山地区 休廃止鉱山鉱害防止工事 RB1132A011	大館市 比内町 谷地中	平和建設株式会社	菊地 建一	北秋田地域振興局
5		大館能代空港西線(鷹巣西道路) 地方道路改築補助工事 01-HF27-40	北秋田市 坊沢	株式会社津谷組	九島 平悦	北秋田地域振興局
6		大館能代空港西線(鷹巣西道路) 地方道路改築補助工事 01-HF27-30	北秋田市 坊沢	株式会社佐藤庫組	佐藤 昌郁	北秋田地域振興局
7		大館能代空港西線(鷹巣西道路) 地方道路改築補助工事 01-HF27-50	北秋田市 脇神	秋田土建株式会社	北林 一成	北秋田地域振興局
8		上西山地区 防災林造成工事 RC1103A011	能代市 浅内	成田建設株式会社	成田 保	山本地域振興局
9		国道101号 地方道路交付金工事(橋梁補修) 30-F153-10	能代市 落合	大森建設株式会社	大森 三四郎	山本地域振興局
10		国道101号 地方道路交付金工事(橋梁補修) 30-F153-40	能代市 落合	アキモク鉄工株式会社	花下 智之	山本地域振興局
11	特別表彰 (5回)	浜山ほか地区 防災林造成工事 RD1103A111	潟上市 天王	株式会社寒風	菅原 廣悦	秋田地域振興局
12		八郎潟1期地区 基幹水利施設ストックマネジメント工事 03204-K01	八郎潟町 夜叉袋	秋田瀝青建設株式会社	斉藤 豊隆	秋田地域振興局
13	特別表彰 (10回)	天王海岸 海岸災害関連工事 30-MK11-30	潟上市 天王	株式会社沢木組	沢木 則明	秋田地域振興局
14		秋田港向浜地区 向浜ふ頭用地造成工事 30-Z401-10	秋田市 向浜	清水組・加藤建設特定建設工事共同企業体	清水 隆成	秋田港湾事務所
15		天王海岸 海岸災害関連工事 30-MK11-40	潟上市 天王	株式会社板橋組	板橋 広光	秋田地域振興局
16		新波川 床上浸水対策特別緊急工事 30-KY36-30	秋田市 雄和新波	株式会社加藤建設	加藤 正己	秋田地域振興局
17	特別表彰 (5回)	天王海岸 海岸災害関連工事 30-MK11-10	潟上市 天王	株式会社清水組	清水 隆成	秋田地域振興局
18		雄和岩城線 道路災害復旧工事 30-0143-10	秋田市 雄和相川	伊藤工業株式会社	伊藤 満	秋田地域振興局
19		千秋広面線 地方街路交付金工事 30-SB40-N2	秋田市 千秋城下町	千代田電気工業株式会社	小野地 慎一	秋田地域振興局
20		秋田昭和飯田川線 県単道路補修工事(簡易舗装改築) 01-G554-B0	潟上市 飯田川飯塚	天喜建設株式会社	天野 貴明	秋田地域振興局

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない

第41回秋田県優良工事表彰 工事一覧表(2/2)

番号	特別表彰	工事名 (路河川名)	工事箇所	施工業者	代表者名	発注公所
21		千秋広面線 地方街路交付金工事 30-SB41-10	秋田市 千秋城下町	株式会社黒澤塗装工業	黒澤 晋一	秋田地域振興局
22	特別表彰 (5回)	大内地区 ため池等整備(ため池)工事 02205-K01	由利本荘市 岩谷麓	菊地建設株式会社	橋本 聡	由利地域振興局
23		仁賀保海岸 海岸防災対策工事 30-MR32-10	にかほ市 芹田	村岡建設工業株式会社	村岡 兼幸	由利地域振興局
24		芋川 河川改修工事 01-KA23-10	由利本荘市 徳沢	株式会社鳥海リース	鈴木 一明	由利地域振興局
25		強首地区 ため池等整備(ため池)工事 02902-K02	大仙市 強首	株式会社荒屋舗建設	今野 春夫	仙北地域振興局
26		三条川原地区 農地集積加速化基盤整備工事 05605-K06	大仙市 北野目	高吉建設株式会社	佐藤 利昭	仙北地域振興局
27		生保内南地区 農地集積加速化基盤整備工事 07504-K14	仙北市 田沢湖生保内	日高建設株式会社	日高 英樹	仙北地域振興局
28		前沢線 森林資源循環利用林道整備工事 RF1204A911	大仙市 協和峰吉川	進藤建設株式会社	進藤 章	仙北地域振興局
29		櫛岡川 河川災害復旧助成工事 30-KJ11-10	大仙市 南外	株式会社小笠原組	小笠原 武男	仙北地域振興局
30	特別表彰 (5回)	淀川 河川災害関連工事 30-KH10-20	大仙市 協和下淀川	はりま建設株式会社	播間 泰	仙北地域振興局
31		土買川 河川災害関連工事 29-KH11-57	大仙市 刈和野	株式会社斎兵組	齋藤 法	仙北地域振興局
32		土買川 河川災害関連工事 KH11-12	大仙市 刈和野	加藤建設・寒風特定建設 工事共同企業体	加藤 正己	仙北地域振興局
33		山城堰地区 ため池等整備(河川対応)工事 01603-K02	横手市 大森町本郷	伊藤建設工業株式会社	中村 清昭	平鹿地域振興局
34		南郷支線 林業専用道(規格相当)整備工事 RG1203A001	横手市 山内筏	有限会社野崎建設	野崎 秋夫	平鹿地域振興局
35		上溝川 河川災害復旧助成工事 30-KJ10-30	横手市 大森町上溝	伊藤・マルサ特定建設工 事共同企業体	中村 清昭	平鹿地域振興局
36		上溝川 河川災害復旧助成工事 30-KJ10-10	横手市 大森町上溝	吉田・泉谷特定建設工 事共同企業体	吉田 博行	平鹿地域振興局
37		愛宕地区 急傾斜地崩壊対策工事 30-LI70-10	横手市 羽黒町	株式会社秋田デイクラ イト	今 満	平鹿地域振興局
38		下川原堰地区 ため池等整備(河川対応)工事 01702-K02	湯沢市 八幡	株式会社皆瀬土木	高橋 光明	雄勝地域振興局
39		大曲大森羽後線 地方道路等整備工事(建設) 30-I423-10	羽後町 西新城	大橋建設株式会社	古谷 秀克	雄勝地域振興局
40		秋田県立総合射撃場 狩猟技術訓練施設整備工事 SK30-10	由利本荘市 岩城道川	菊地・村岡・高橋秋和特 定建設工事共同企業体	橋本 聡	自然保護課

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない



1 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	花輪大堰地区 ため池等整備(用排水)工事 01103-K01		
路河川名/地区名	花輪大堰地区	施工地名	鹿角市花輪
商号又は名称	株式会社村木組	許可番号	05-014040
請負額	31,243,300円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 村木 通良		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 康久		
監督実施公所	鹿角地域振興局(農林部)		
主任監督員	齋藤 秀悦	監督員	高橋 勝利
工期	令和元年7月19日～ 令和元年12月18日	完成年月日	令和元年12月18日
概要	1) 水路工 L=96.3m 2) 安全施設工 L=58.2m		
特徴	1) かんがいと地域防災強化のための花輪大堰改修工事 2) 水利権により止水期間が限られており、施工期間に制約がある工事		
写 真			
			
着工前		完成	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・水路工及び付帯工の施工期間に制約がある中、防護柵の追加施工を行うこととなったが、関係者と打ち合わせ及び調整を行い、工期内に完成した。 ・現場打分水榭の二次製品化や、電子黒板を利用した省力化に取り組む等、綿密に工程管理を行うことで、工程の短縮を図った。 ・暑中コンクリートに塗膜養生剤を使用し、表面に保水性の高いポリマーセメント層を形成することにより、水分の蒸発を抑制し品質の向上を図った。 ・住宅が隣接する区間のため、住民に対し工事内容の説明と要望の聞き取りを行い、低騒音型の機械を使用するなど周辺への影響に配慮することで、トラブルなく円滑に工事を実施した。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・農業用水利権、消雪用水利権により、止水期間が限られており、施工期間に制約がある中で、大型フリームの製造工程と現場の工程を綿密に調整し、現場打ち材を二次製品へ代替えることで工期の短縮に取り組み、工期内に完成した。 ・住宅が隣接する現場であったが、低騒音機械を選定し騒音対策をするなど、地域への影響に配慮し、苦情やトラブルもなく工事を完成させた。 ・段階確認や検査の際、簡易略図を作成し事前に監督員に内容を説明することで、効率化を図った。



2 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	県単河川改良工事（自然災害防止債） 01-K103-10		
路河川名/地区名	米代川	施工地名	鹿角市八幡平
商号又は名称	株式会社柳沢建設	許可番号	05-001843
請負額	43,136,500円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役社長 柳沢 義生		
監理技術者等	現場代理人 根市 勝仁		
監督実施公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任監督員	北林 了以	監督員	畠山 正寿
工期	令和元年10月18日～ 令和2年3月25日	完成年月日	令和2年3月25日
概要	1) 施工延長 L=54.5m 2) コンクリートブロック張 A=648m ² 3) 根固めブロック(4t) N=63個 4) 吐口工 N=1式		
特徴	1) 河川水衝部における護岸工事 2) 曲線部の護岸工施工		
写 真			
			
着工前		完成	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、河川水衝部の洗掘対策として、護岸工と根固工を設置した工事である。 ・大型護岸ブロックによる曲線部の施工は難しく、今回は途中で排水工があったため、より難しいものであったが、綿密な割り付け検討や施工時の工夫により、非常に出来映えの良い護岸工が完成した。 ・河川内での工事であるため、融雪期の増水前に護岸工の施工が完了できるように、工程管理を適切に行い、施工についても効率化を図り、融雪期前に工事を完成させた。 ・冬季工事という厳しい条件のなかでありながら、作業事故がなく現場を完成させ、出来型・品質も良好である。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事箇所は曲線部の護岸工事であり、設計段階から展開図の作成を綿密に計画し、施工時の丁張り間隔を短くするなどの工夫により、出来映え良く完成した。 ・一般市民がサイクリングやジョギング、散策など広く利用されているサイクリングロードを閉鎖しての工事であり、工事による施設の破損等がないよう配慮した。 ・施工現場に住宅が隣接していることから、既設水路の排水をポンプ排水から配管による自然流下に変更、発電機やポンプからの騒音振動を抑制し、苦情やトラブルもなく工事を完成させた。

3 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	河川災害復旧工事 30災0129-10		
路河川名/地区名	米代川	施工地名	鹿角市花輪
商号又は名称	株式会社米村組	許可番号	05-008844
請負額	42,759,360円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 米村 茂		
監理技術者等	現場代理人 高橋 勉		
監督実施公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任監督員	畠山 正寿	監督員	安藤 晃太
工期	平成30年12月21日～ 令和元年7月16日	完成年月日	令和元年7月2日
概要	1) 復旧延長(右岸) L=56.0m 2) 護岸工(コンクリートブロック張) A=756m ² 3) 小口止工(2箇所) V=5m ³ 4) 法覆工(張芝) A=340m ²		
特徴	1) 早期の復旧が求められた堤防の復旧工事 2) 堤防道路の一般交通に対する安全管理の徹底		
写 真			
 <p>着工前</p>		 <p>完成</p>	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、平成30年8月16日の豪雨出水により被災した堤防の復旧工事である。 ・被災により堤防が緩んでいる可能性があり、堤防道路の陥没や掘削面の崩壊が懸念されていたため、掘削地山の点検や、路面クラック幅測定等の点検を入念に行った。結果として陥没や崩壊は発生しなかったが、現場の変状を見逃さない点検体制は評価できるものであった。 ・融雪出水により施工箇所が水没し、施工できない期間があったが、直ちに工程のフォローアップを行い、綿密な工程管理のもと工期内に完成させた。 ・交通量の多い堤防道路であったが、重機や資材の搬入時は、確実な誘導と安全確認を徹底し作業を行った。その結果、無事故で通過車両からの苦情も無く、工事を完成させた。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・施工効率を上げるため、作業半径が大きい超ロングアームバックホウを使用することにより、埋戻し回数を減らし、作業期間を短縮することができた。 ・隣接する工場の出入り口が工事区間内であったため、工場出入り口の位置を変更し工事作業と車両の出入りが重複しないように安全確保に努めた。 ・災害復旧工事であるため、早期の完成が求められたが、適切に工程のフォローアップを行い、道路利用者や隣接する工場、地域からの苦情やトラブルもなく安全に工事を完成させた。

4 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	立又鉾山地区 休廃止鉾山鉾害防止工事 RB1132A011		
路河川名/地区名	立又鉾山地区	施工地名	大館市比内町谷地中
商号又は名称	平和建設株式会社	許可番号	05-001945
請負額	49,157,280円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 菊地 建一		
監理技術者等	現場代理人 羽沢 正哉		
監督実施公所	北秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	三浦 泉	監督員	本間 定寿
工期	令和元年5月17日～ 令和元年11月29日	完成年月日	令和元年9月17日
概要	1) 押え盛土工 V=4,191m ³ 2) 仮設道路工 L=18.5(125.9m)、W=4.0m		
特徴	1) 盛土材の安定を確保するため購入土により施工 2) 急勾配の仮設道路に路面浸食防止のためコンクリート路面工を施工		
写 真			
			
完成(全景)		押え盛土工	
		仮設道路工	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・急勾配の仮設道路の施工にあたって、降雨等による地表水の流下による路肩の保護対策や排水処理等、工夫が見られた。
- ・工程管理にあたって、週間予定工程表を作成して、作業予定・進捗状況報告・段階確認時期の調整等を行ったことにより、施工及び確認等がスムーズに進み工期を大幅に短縮して完成させることができた。
- ・施工箇所までは集落内の生活道路を通過するため、地元町内会長を通じてチラシを配布するなどして工事の周知と理解を求めたほか、周辺道路に待避所の案内を標示し通行車両の安全確保に努めた。

◆施工業者からのPR

- ・押え盛土工の施工にあたり、既設ズリ捨て場堤体と押え盛土との接合部の安定（段切・融水処理等）に配慮した。
- ・仮設道路（指定仮設）が急勾配（15%）及び急カーブ（R=20～R=30）であったため、丁張間を短く設置することにより、バンクに伴う基準高管理を徹底するとともに、なだらかな法線となるよう工夫した。
- ・施工後の降雨に伴う路面水の流下から、盛土材の流出を防止するため、枕土嚢及びフレキシブル管を設置して速やかに排水処理を行い、路体の保護が図られるよう工夫した。

5 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	地方道路改築補助工事 01-HF27-40		
路河川名/地区名	大館能代空港西線(鷹巣西道路)	施工地名	北秋田市坊沢
商号又は名称	株式会社津谷組	許可番号	05-001554
請負額	138,373,400円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 九島 平悦		
監理技術者等	現場代理人 松岡 智美		
監督実施公所	北秋田地域振興局(建設部)		
主任監督員	金澤 和春	監督員	出雲 智也
工期	令和元年8月9日～ 令和2年3月27日	完成年月日	令和2年3月27日
概要	1) 施工延長L=400.0m 2) 法面整形(ICT)(盛土部)A=3,210m ² 3) 路体盛土(ICT)V=10,200m ³ 4) 路床盛土(ICT)V=6,700m ³		
特徴	1) ICTを活用した路床・路体盛土及び法面整形の施工 2) 同時期施工となる隣接工区との綿密な工程調整を要する施工区間		
写 真			
			
完 成		レーザースキャナによる 起工及び出来形測量	
ICT建機による施工			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、高規格道路の路体・路床盛土を主とし、ICT技術を活用することにより作業効率の向上や施工期間の短縮を図っている。
- ・隣接工区との同時期での施工となり、資・機材の搬入が輻輳する等厳しい現場条件のなか、隣接工区との綿密な工程調整や、工程のフォローアップ等を臨機応変に実施することにより、予定工期どおりに工事を完成させることができた。
- ・工事着工前、完成後に、降雨等により流出した土砂で埋塞した排水溝の土砂上げを実施し、隣接する民地への道路排水の流出を防止した。
- ・女性の観点によるきめ細やかな現場環境、衛生面等の向上が図られた。

◆施工業者からのPR

- ・盛土材の品質のばらつきを最小限にするため、当日使用する量を採取・運搬することにより事前に行った土質試験結果に近い状態で盛土施工するよう努めた。
- ・当工区は、起終点側共に別途発注工事に挟まれた工事区間であるため、隣接工区からの進入となったが、独自に仮設敷鉄板を敷設するなど隣接工区の施工面を乱さないよう注意した。
- ・現場見学会の開催にあたり、熱中症予防や降雨時の説明場所確保のため、新たにプレハブを準備し、ICT施工に関連する資料を掲示するなど、ICT施工の普及に向けた取り組みを積極的に行った。

6 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	地方道路改築補助工事 01-HF27-30		
路河川名/地区名	大館能代空港西線(鷹巣西道路)	施工地名	北秋田市坊沢
商号又は名称	株式会社佐藤庫組	許可番号	05-006597
請負額	105,215,000円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 佐藤 昌郁		
監理技術者等	現場代理人 岸野 雄馬		
監督実施公所	北秋田地域振興局(建設部)		
主任監督員	金澤 和春	監督員	出雲 智也
工期	令和元年8月9日～ 令和2年3月27日	完成年月日	令和2年3月27日
概要	1) 施工延長L=229.7m 2) 路床盛土(ICT)V=4,130m ³ 3) 排水構造物 N=1式 4) 下層路盤(ICT)本線 A=3,650m ² 5) 下層路盤(ICT)ラフ A=2,340m ²		
特徴	1) ICTを活用した路床・路体盛土及び法面整形の施工 2) 同時期施工となる隣接工区との綿密な工程調整を要する施工区間		
写 真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>完成</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ドローンによる 起工及び出来形測量</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ICT活用モデル工事 PR看板設置</p> </div> </div>			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、高規格道路の路体・路床盛土を主としICT技術を活用し、作業効率の向上や施工期間の短縮、高い精度の出来形・品質管理、施工管理の効率化を図っている。
- ・隣接工区との同時期での施工となり、資・機材の搬入が輻輳する等厳しい現場条件のなか、隣接工区との綿密な工程調整や、工程のフォローアップ等を臨機応変に実施することにより、予定工期どおりに工事を完成させることができた。
- ・小学生や、地元工業高校の生徒及び北秋田建設業協会女子部会を対象とした現場見学会を積極的に受け入れ、将来の建設業界の担い手確保、女性技術者の積極的な登用に向けた活動に取り組んだ。

◆施工業者からのPR

- ・本工事では、「地元に見える現場」をコンセプトに工事を進めてきました。その一環として、未来を担う技術者である地元工業高校の生徒を対象とした現場見学会及び出前講座の開催に積極的に取り組み、建設業への理解と関心、興味が高まるよう工夫しました。
- ・第三者が施工現場を見る機会が少ない当現場において、自主的に現場入り口付近へICT活用モデル工事PR看板を設置し、工事内容、ICT施工について広く周知しました。

7 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	地方道路改築補助工事 01-HF27-50		
路河川名/地区名	大館能代空港西線（鷹巣西道路）	施工地名	北秋田市脇神
商号又は名称	秋田土建株式会社	許可番号	05-081727
請負額	133,894,200円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 北林 一成		
監理技術者等	現場代理人 畠山 文佳		
監督実施公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	金澤 和春	監督員	木村 圭佑
工期	令和元年8月9日～ 令和2年3月27日	完成年月日	令和2年3月27日
概要	1) 施工延長 L=269.5m 2) 掘削 V=22,200m ³ 3) 路床盛土 V=1,500m ³ 4) 下層路盤（本線、本線路肩）（C-40、t=20cm）A=3,530m ² 他		
特徴	1) 日本海沿岸東北自動車道となる区間の掘削～下層路盤までの施工 2) 徹底した工程管理の実施		
写 真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完 成</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>最適転圧回数による品質向上</p> </div> </div>			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、高規格道路の路床・路盤工事が主体の工事である。
- ・22,000m³超の掘削工について、掘削機械・土砂運搬車両の増台や作業ヤードの増設等により、施工効率が悪化する降雪前に作業を終えた。
- ・切土部の犬走りコンクリート箇所に、コンクリート二次製品（シールコンクリート）を使用するなど、積極的に二次製品を採用し工期の短縮を図り、隣接工区との綿密な工程管理、徹底した安全管理のもと工事を完成させた。
- ・近傍には住宅地があるが、住民との積極的なコミュニケーションを図ることにより、苦情等なく工事を完成している。

◆施工業者からのPR

- ・盛土材の品質管理向上について、路床盛土工施工前に試験施工を実施してローラーの最適転圧回数を決定した。
- ・施工時には、最適転圧回数を運転手に伝達及びローラーに明示し、過大過小転圧による品質低下防止に努めた。その結果、締固め密度98.4%以上の高い品質を得ることができた。
- ・施工後の基準高について、路床盛土工及び下層路盤工施工後に、通常管理する測点以外に車線中心部・変化点・測点間の中間（10m地点）の基準高を測定し、仕上がり良く完成することができた。

8 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	上西山地区 防災林造成工事 RC1103A011		
路河川名/地区名	上西山地区	施工地名	能代市浅内
商号又は名称	成田建設株式会社	許可番号	05-081298
請負額	68,502,500円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 成田 保		
監理技術者等	現場代理人 嶋津 命		
監督実施公所	山本地域振興局（農林部）		
主任監督員	今川 順	監督員	笠井 郁
工期	令和元年5月24日～ 令和元年12月20日	完成年月日	令和元年11月25日
概要	1) 防潮護岸工（嵩上げ） L=100.0m 2) 消波根固工（嵩上げ） L= 90.0m		
特徴	1) 品質向上対策の徹底による、良好な出来映え 2) ブロック据付機械の適切な選定による作業の安全確保と効率化		
写 真			
 <p style="text-align: center;">完成写真</p>		 <p style="text-align: center;">高所運転席仕様のクレーンによるブロック据付</p>	


◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、強風、波浪に伴う海岸の侵食や飛砂を防止するため、既設防潮護岸工及び消波根固工の嵩上げを行った工事である。
- ・防潮護岸工の嵩上げは、既設の波返し部分を取り壊した後にプレキャストブロックを設置し、嵩上げを行うものであるが、自主的な二次製品の工場検査や、コンクリート受け入れ時にスランプフロー叩き試験を行うなど、品質管理向上への取組が顕著である。
- ・消波ブロックの据付には、高所運転席仕様のクレーンを使用し、合図者と重機オペレータが同時通話無線を使用することにより意思疎通を図るなど、作業の安全確保とともに作業の効率化により大幅に工期を短縮させた。

◆施工業者からのPR

- ・海岸工事という現場特有の作業条件を克服するため、ICT技術の活用や最適な使用機械の選定を行い、作業時の安全管理の徹底に努めた。
- ・使用資材の塩害対策として、保管方法の工夫や、新技術（NETIS登録）の防錆材を使用するなど、品質向上や長寿命化を意識した施工を行った。
- ・地元の高校生、中学生の現場見学会やインターンシップを積極的に行い、建設業における持続的発展、将来の担い手確保とイメージアップに努めた。
- ・今後も新たな技術習得と創意工夫に努め、地域社会に貢献していきたい。

9 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	地方道路交付金工事（橋梁補修） 30-F153-10		
路河川名/地区名	国道101号	施工地名	能代市落合
商号又は名称	大森建設株式会社	許可番号	05-081607
請負額	223,169,820円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 大森 三四郎		
監理技術者等	現場代理人 長内 伸人		
監督実施公所	山本地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐藤 洋	監督員	藤枝 雅利
工期	平成30年9月7日～ 令和2年3月23日	完成年月日	令和2年3月23日
概要	1) 橋脚補強工 N=1基 2) 仮締切工 N=1式		
特徴	1) 非出水期内施工における工程管理の実施 2) 厳しい自然条件への対策・配慮		
写 真			
			
全景 完成 仮締切矢板打設の施工性向上 （自社フロート台船の使用）			

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・能代大橋の橋脚補強工は、河川協議により非出水期内（10月～3月）の限られた期間での工事であった。工事期間中は非出水期であるが、融雪出水により作業中止となる日も考慮し、施工の工夫により工程の短縮を図ったほか、緻密な工程管理を行い工事完成期日に遅れることなく工事を完成させたことは高く評価できるものであり、この厳しい条件の中であっても構造物の品質向上に努めていた。 ・現場は、安全第一に取り組んでおり、クレーン作業時には風速計を用いた安全対策を行い、オイルフェンスを設置した油流出事故対策等も顕著であった。 ・以上の理由から、他の工事現場の模範となる現場であり優良工事に推薦するものである。

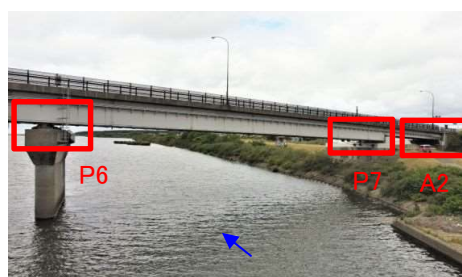
◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・当現場は、河川協議における施工時期に制約があり、非出水期での作業終了が必須であったため、施工期間の短縮を念頭に徹底した工程管理・施工方法の工夫を常に意識しながら施工しました。 ・河川内の橋脚補強工事であり、将来的な維持管理の低減を目的とし鉄筋・型枠・コンクリート打設において、施工方法、資機材および混和剤の創意工夫により、コンクリート品質の向上に努めました。 ・今後もさらに進化し続ける時代に対応できる技術を磨き、地域社会への貢献に努めます。

10 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	地方道路交付金工事（橋梁補修） 30-F153-40		
路河川名/地区名	国道101号	施工地名	能代市落合
商号又は名称	アキモク鉄工株式会社	許可番号	05-006948
請負額	148,678,020円	工種・格付	鋼構造物 A級
代表者	代表取締役 花下 智之		
監理技術者等	現場代理人 渡邊 慎也		
監督実施公所	山本地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐藤 洋	監督員	藤枝 雅利
工期	平成31年3月29日～ 令和2年3月19日	完成年月日	令和2年3月19日
概要	1) 水平力分担構造工（横梁） N=2基 2) 落橋防止装置工 N=13箇所		
特徴	1) 箱桁・钣桁それぞれの耐震補強工事 2) 多工種における施工順序の調整		

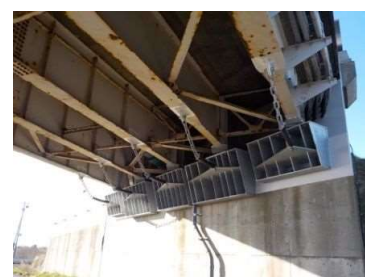
写真



全景(P6,P7,A2)



水平力分担構造



落橋防止装置

◆監督実施公所の推薦理由



- ・能代大橋上部工の耐震補強工事は、施工に必要な高力ボルトの納期に不測の日数を要したが、適切な工程管理と施工の工夫によって工程の短縮を図り、完成期日に遅れることなく、工事を完成させたことは高く評価できるものである。
- ・橋梁上からの作業には通行規制を伴うが、能代大橋では、同時期に複数の工事が実施されていたことから、隣接する工事業者と入念に規制日時を調整し、交通渋滞を緩和したことで苦情もなく、通行規制時には侵入車両停止装置を用い、交通誘導員の安全を確保するなど、安全管理も高く評価できるものである。
- ・以上の理由から、他の工事の模範となる現場であり優良工事に推薦するものである。

◆施工業者からのPR

- ・全国的な高力ボルトの不足時期で、納期に8ヵ月以上かかり厳しい工程となりましたが、仮ボルトを使用し高力ボルト締付けの工程を後半にずらすことで、工期内に工事を完了させることができました。
- ・コンクリート表面保護塗装の施工に先立って、多数の巣穴や欠けに粒子の細かいガラス繊維配合のパテを使用し、塗装後の気泡発生を抑え外観・品質の向上に努めました。
- ・現場状況を総合的に判断し、鋼構造物の据付にフォークリフトを使用するなど、円滑な工事の進捗を図り工程の短縮に努めました。

1 1 第 4 1 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	浜山ほか地区 防災林造成工事 RD1103A111		
路河川名/地区名	浜山ほか地区	施工地名	潟上市天王
商号又は名称	株式会社寒風	許可番号	00-023067
請 負 額	116,908,500 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役社長 菅原 廣悦		
監理技術者等	現場代理人 安藤 明		
監督実施公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	小野 圭	監督員	工藤 岳
工 期	平成31年3月29日～ 令和元年12月13日	完成年月日	令和元年12月13日
概 要	1) 防潮護岸工 L=110.69m 2) 仮設工 N=1式		
特 徴	1) ブロック製作場所の気象条件への対応を要した工事 2) 施工地内の漁協所有取水管について対応を要した工事		
写 真			
			
完 成		ブロック据付状況	

◆監督実施公所の推薦理由




- ・本工事は、冬季風浪に伴う海岸侵食を防止するため、防潮護岸工を築堤するものである。
- ・日本海に面した支障物の無い砂丘地内でブロックを製作することになるため、海風で巻き上げられた砂の混入や、直射日光によるコンクリート表面のひび割れを想定して、養生には細心の注意を払い、専用養生シートでの保護や打設小屋の新設を実施した。
- ・秋田県漁業協同組合天王支所で使用している海水取水管が施工地内にあったため、移設が必要となった。移設可能時期、取水管の品質や規格、防潮護岸工との配置関係等様々な制約があったものの、事前に漁協関係者と綿密に打ち合わせを実施した結果、トラブル無く竣工することができた。

◆施工業者からのPR

- ・施工箇所が日本海に面していたため、支障物がなく、強風により砂が飛散する現場条件であったことから、専用養生シートにより型枠内を全面覆い砂の混入を防止し、また、直射日光によるコンクリートひび割れや風雨による表面保護対策のため、養生小屋を設置し、側面に遮光性ネットを取り付け、品質の確保に努めた。
- ・漁協所有の海水取水管が埋設されていたため、仮配管を移設しながらの施工となったが、漁協関係者との協議を密に行うことで、漁協営業に支障をきたすことなく、円滑な工事進捗を図った。

12 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	八郎潟1期地区 基幹水利施設ストックマネジメント工事 03204-K01		
路河川名/地区名	八郎潟1期地区	施工地名	八郎潟町夜叉袋
商号又は名称	秋田瀝青建設株式会社	許可番号	05-001353
請負額	146,135,000円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 斉藤 豊隆		
監理技術者等	現場代理人 浜田 勉		
監督実施公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	田中 佳輝	監督員	藤本 賢
工期	令和元年8月9日～ 令和2年3月25日	完成年月日	令和2年3月25日
概要	1) 夜叉袋高架水槽 製作・据付工 N=1基		
特徴	1) 寒冷期の施工における品質管理 2) 工程の円滑な管理		
写 真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>完 成</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ドローンによる空撮</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>コンクリート養生状況</p> </div> </div>			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・寒冷期のコンクリート工事において、円形構造物の全周にダクトを設置し、構造物全体にかかる給熱環境の均一化を図ったほか、熱交換式温風機を導入することにより、有毒ガスが養生シート内に充満することのないよう、安全管理の徹底を図った。
- ・隣接する農用地を借り上げて施工する必要があったため、関係土地改良区および地権者等との連絡を密にして、工事の円滑化を図った。
- ・施工時期が制約されていた中、塗装工程が天候による影響を受けないよう、高架水槽に仮囲い屋根を設置し、塗装に適した温度、湿度に保つため、小型ジェットヒーター及び送風機により品質を確保した。

◆施工業者からのPR

- ・コンクリート工事において、有毒ガス中毒等を防ぐため、熱交換式温風機にて作業環境を整えた。また、寒冷期のためビニールダクトを全周に回して24時間養生を行い、温度管理を徹底することで凍結や急激な温度低下を防止し、良好な品質・出来ばえを確保した。
- ・底版・側壁工は円形のため難易度が高く、綿密に測定・調整しながら加工組立を行い、部材間目地の処理及びPCケーブルの緊張に配慮することにより、高い精度の出来形を確保した。
- ・ドローンでの空撮による進捗状況の明確化、写真の活用により、円滑な施工管理を図った。
- ・インターンシップの受け入れ等に積極的に取り組み、建設業の担い手不足解消に寄与した。

13 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	海岸災害関連工事 30-MK11-30		
路河川名/地区名	天王海岸	施工地名	潟上市天王
商号又は名称	株式会社沢木組	許可番号	05-005082
請負額	156,614,040円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 沢木 則明		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 広志		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐々木 長史	監督員	吉田 雄
工期	平成30年8月24日～ 令和元年10月29日	完成年月日	令和元年10月29日
概要	1) 施工延長 L=361.1m 2) 緩傾斜堤 撤去・再設置 N=1,504個		
特徴	1) 海岸の災害関連工事 2) 自然条件の影響が大きな工事		
写 真			
 <p style="text-align: center;">完 成</p>		 <p style="text-align: center;">濁度管理状況</p>	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・当該工事は、平成29年1月に冬季風浪によって被災した、天王海岸の護岸復旧工事である。工事の大半は波が穏やかな春期から秋期と施工時期が限定され、さらに夏場でも悪天候時は作業が制限されるという自然条件の影響を大きく受ける中で、迅速かつ円滑に工事を完了させた。 ・緩傾斜堤ブロックの施工時には、既設ブロックの補修や、中詰栗石の噛み合わせと平坦性を重視した人力での作業を行い、出来ばえや景観の向上に努めた。 ・仮設工においては、排水流出口に汚濁防止膜の設置と濁度管理を行ったり、沈砂地を設置する等の汚濁防止対策を行い、海岸環境への配慮に努めた。 ・女性が現場を点検するレディースパトロールを実施し、安全性や作業環境の向上を図った。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・波打ち際における大型ふとんかご設置において、波浪等による仮締切の崩壊が懸念されたことから、大型土のうをブルーシートで覆い、外側に敷鉄板を設置し、築堤崩壊の防止に努めた。 ・掘削時の排水処理において、海水浴場が近接していたため、現場内に沈砂地、簡易汚濁防止膜を設置し、水質調査として濁度管理を行い、周辺環境への汚濁防止対策に努めた。 ・既設ブロック据付後の中詰栗石の施工において、噛み合わせと平坦性を重視し、景観に配慮した施工に努めた。 ・施工範囲が広域のため、ドローンによる写真管理を行い、施工管理等の効率化を図った。

14 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	向浜ふ頭用地造成工事 30-Z401-10		
路河川名/地区名	秋田港向浜地区	施工地名	秋田市向浜
商号又は名称	清水組・加藤建設特定建設工事共同企業体		
請負額	153,619,200円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	株式会社 清水組 代表取締役社長 清水 隆成		
許可番号	00-011421	監理技術者等	現場代理人 竹内 光美
(構成員)	株式会社 加藤建設 代表取締役 加藤 正己		
(許可番号)	05-002392	(監理技術者等)	主任技術者 千葉與右工門
監督実施公所	秋田港湾事務所		
主任監督員	加藤 徹	監督員	藤原 隆幸
工期	平成30年6月29日～ 令和元年12月20日	完成年月日	令和元年12月20日
概要	1) 施工延長 L=82.1m 2) 護岸上部工 L=82.1m 3) 消波ブロック製作 (12.5t) N=58個 4) 既設消波ブロック据付 N=147個		
特徴	1) ふ頭用地造成部の護岸築造工事 2) 外海に面するため波浪による影響を強く受ける		
写 真			
 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>着手前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>施工状況</p> </div> </div>			

◆監督実施公所の推薦理由



- ・本工事箇所は、外海に面するため波風が非常に強く、気象・海象が作業効率に著しく影響する難易度の高い工事である。
- ・他工区との調整や、台風等による被災により施工期間が制限され、護岸上部工を短期間で完成させる必要が生じたものの、現場打ち護岸上部工の一部を自主的に型枠ブロック工法に変更することにより、品質を確保しつつ工程の短縮を図り、工期内に完了させることができた。
- ・建設業に興味を持ってもらえるよう、インターンシップの受け入れや現場見学会を行うなど、次世代の担い手確保に積極的に取り組んだ姿勢が評価できる。

◆施工業者からのPR

- ・本工事は、他工事の基礎捨石工完了後の施工となる上に、海象条件が著しく悪化する時期での施工であったため、護岸上部工において、鋼製型枠の一部を型枠ブロック工法に自主的に変更し工期内完成を図った。更に、工場内での組立試験や、上部工載荷時のくい込み量を試験的に測定し、現場の円滑な施工、良好な品質・出来形を確保した。
- ・インターンシップの受け入れや女性用快適トイレの設置など、担い手の育成及び作業環境の向上に努めた。

15 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	海岸災害関連工事 30-MK11-40		
路河川名/地区名	天王海岸	施工地名	潟上市天王
商号又は名称	株式会社板橋組	許可番号	05-001354
請負額	245,375,560円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 板橋 広光		
監理技術者等	現場代理人 畠山 尚		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐々木 長史	監督員	加賀 貴文
工期	平成30年8月24日～ 令和元年12月20日	完成年月日	令和元年12月20日
概要	1) 施工延長 L=380.5m 2) 緩傾斜堤 撤去・再設置 N=1,075個		
特徴	1) 海岸の災害関連工事 2) 自然条件の影響が大きな工事		
写 真			
 <p style="text-align: center;">完成</p>		 <p style="text-align: center;">自転車道路肩部に防草シートを設置</p>	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・当該工事は、平成29年1月に冬期風浪によって被災した、天王海岸の護岸復旧工事である。工事の大半は波が穏やかな春期から秋期と施工時期が限定され、さらに夏場でも悪天候時は作業が制限されるという自然条件の影響を大きく受ける中で、迅速かつ円滑に工事を完了させた。
- ・緩傾斜堤ブロックの施工時には、既設ブロックの補修や、開口部への落下防止のため割栗石を投入・敷均しを行い、出来ばえや景観の向上及び危険防止に努めた。
- ・自転車道路肩部においては、防草シートを設置し、降雨による侵食防止及び草刈り等の維持管理簡略化に努めた。
- ・4業者による安全協議会を設立し、代表者として連絡調整等を行い円滑な工事進捗に努めた。

◆施工業者からのPR

- ・洗掘防止工において、海水だけではなく斜面側からも湧水が常時流出していたため、仮締切を鋼矢板打込から簡易土留及び築堤盛土に変更したことにより、計画よりも安価で且つ安全に施工することができた。
- ・新規に製作する緩傾斜堤ブロックについて、天候に左右されやすい現場製作から、工場製作のプレキャスト製品に変更することにより、工期短縮と出来形・品質の向上に努めた。
- ・自転車道において、路肩部に防草シートを設置し、侵食防止や草刈り等の維持管理の低減を図ったほか、自主的に舗装や防護柵の補修、案内板の取替等を実施し、社会貢献に努めた。



16 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	床上浸水対策特別緊急工事 30-KY36-30		
路河川名/地区名	新波川	施工地名	秋田市雄和新波
商号又は名称	株式会社加藤建設	許可番号	05-002392
請負額	126,454,900円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 加藤 正己		
監理技術者等	現場代理人 船木 幸広		
監督実施公所	秋田地域振興局 (建設部)		
主任監督員	児玉 光広	監督員	堀井 克則
工期	令和元年6月21日～ 令和2年3月26日	完成年月日	令和2年3月26日
概要	1) 施工延長 L=225.0m 2) 掘削工 V=19,500m ³		
特徴	1) 厳しい自然条件での床上浸水対策工事 2) ICT技術を活用したICT活用モデル工事		
写 真			
			
完 成		ICT技術を活用した高精度な出来形管理	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 記録的な暖冬での冬季の度重なる河川増水の中、モバイル端末の活用など、各種創意工夫により、無事故・無災害で工期内に完成させた。 ・ ICT活用モデル工事として受注者希望により協議し、ICTの全面的な活用により精度向上を達成し、省力化・省人化により工程の短縮、かつ安全性の大幅な向上を達成した。 ・ 床上浸水対策事業の最初の工事として、各ステークホルダーからの信頼を獲得する必要があったが、誠意をもって1人1人と対話型のコミュニケーションを図り、事業の着実な進捗に努め、工事を完成させた。 ・ 隣接施工現場と安全協議会を設立し、会長として安全協議会全体の安全確保に貢献した。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 無事故、無災害での工期内完成を目標に掲げ、各自の安全意識の向上、マンネリの防止などについて各種の創意工夫により無事故、無災害により工事を完了することができた。 ・ 受注者希望型ICT活用モデル工事として、ICT技術を活用することにより、非常に高精度(±50%以内:97%)な出来形を確保するとともに、省人化・省力化により工程を短縮、安全性の向上を達成した。 ・ 関係機関、地域住民と積極的なコミュニケーションを図ることにより、良好な関係を築く事ができ、また、地域の夏祭り花火大会への協賛、花壇の手入れなど積極的に地域貢献を行った。

17 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	海岸災害関連工事 30-MK11-10		
路河川名/地区名	天王海岸	施工地名	潟上市天王
商号又は名称	株式会社清水組	許可番号	00-011421
請負額	119,749,460円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役社長 清水 隆成		
監理技術者等	現場代理人 三浦 辰也		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐々木 長史	監督員	吉田 雄
工期	平成30年8月24日～ 令和元年12月20日	完成年月日	令和元年12月20日
概要	1) 施工延長 L=174.0m 2) 緩傾斜堤 撤去・再設置 N=1,375個		
特徴	1) 海岸の災害関連工事 2) 自然条件の影響が大きな工事		
写 真			
			
完成		沈下防止材(帆布)敷設状況	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・当該工事は、平成29年1月に冬季風浪によって被災した、天王海岸の護岸復旧工事である。 ・工事の大半は波が穏やかな春期から秋期と施工時期が限定され、さらに夏場でも悪天候時は作業が制限されるという自然条件の影響を大きく受ける中、迅速かつ円滑に工事を完了させた。 ・大型フトンカゴの前面には、沈下防止材（帆布）の敷設と床掘作業で発生した既設の捨石を投入・敷均し、法先の補強による洗掘防止を実施し、裏込砕石の境界には、吸出し防止材を敷設し、裏込砕石の流出防止を実施した。 ・当該工事は、厳しい自然条件下ではあったが、安全できれいな現場環境に努めたため、見学者等が多数おり、非常に良い現場であった。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・当該工事は、高潮・波浪等の海象による影響を受けることから、仮締切の変形、崩壊を防止するため、大型土のう設置のみの計画区間に、自主的に鋼矢板及び鉄板打込を併せて設置したほか、荒天時には、事前に排水ポンプを停止し、仮締切内に水を貯めることで、海側と陸側の水位差を抑え、高波による鋼矢板への衝撃を低減した。 ・鋼矢板の数量を設計よりも自主的に多く確保し、転用回数の削減による工期短縮を図り、海象条件の比較的良い時期の施工を実現し、安全と品質の向上に努めた。 ・インターンシップの受け入れ等に積極的に取り組み、担い手の育成、確保に寄与した。

18 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	道路災害復旧工事 30-0143-10		
路河川名/地区名	雄和岩城線	施工地名	秋田市雄和相川
商号又は名称	伊藤工業株式会社	許可番号	05-001004
請負額	121,991,400円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役社長 伊藤 満		
監理技術者等	現場代理人 田村 裕幸		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐々木 浩喜	監督員	天野 麻美
工期	平成31年3月29日～ 令和元年11月29日	完成年月日	令和元年11月14日
概要	1) 復旧延長 L=82.5m、復旧幅員 W=9.6m 2) 盛土工 V=10,270m ³ 3) 地下水排除工 L=655.9m		
特徴	1) 精度の高い盛土施工への取り組み 2) 降雨時に備えた事前対策の徹底		
写 真			
着手前			
完成後			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・当工事は、平成29年東北豪雨で発生した地すべりにより陥没した道路の災害復旧工事であり、過去にも隣接地にて地すべりが発生している厳しい現場である。
- ・盛土材の承諾を受けるにあたって、「土質試験」「地すべり安定解析」を第三者機関で行う等、品質管理への徹底さが伺えた。
- ・施工においても、精度の高い盛土施工や水の排除に細心の注意を払った。
- ・その結果、気象台観測史上記録尽くめのゲリラ豪雨に見舞われたが、被災することなく最適な時期に施工し完工することができた。
- ・基本に忠実な施工を実践し、二次被害を防いだことは高く評価できる。

◆施工業者からのPR

- ・施工開始時に微量の変動が確認されたため、伸縮計の変動値に基づき、警戒・避難基準を独自に設け安全対策を徹底し、また、既設の農道を工事用道路として利用する計画であったが、地すべり箇所の押え盛土も兼ねたルートに変更し、更に、適正な排水処理をしたことで、施工中において、伸縮計の変動は殆ど確認されず、安全を確保できた。
- ・試験盛土やRI計器による密度管理等、転圧不足及び過転圧の防止に努め、非常に良好な品質を確保することができた。
- ・被災時に、応急復旧作業を行った現場であり、地元企業として高い使命感を持ち施工した。

19 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	地方街路交付金工事 30-SB40-N2		
路河川名/地区名	千秋広面線	施工地名	秋田市千秋城下町
商号又は名称	千代田電気工業株式会社	許可番号	05-001951
請負額	88,155,340円	工種・格付	電気 A級
代表者	代表取締役 小野地 慎一		
監理技術者等	現場代理人 二木 精一		
監督実施公所	秋田地域振興局 (建設部)		
主任監督員	菅原 昭磨	監督員	松塚 忠政、藤原 元気
工期	平成31年2月1日～ 令和元年10月4日	完成年月日	令和元年10月4日
概要	1) 施工延長 L=392.1m 2) 道路融雪設備(機器単体) 1式 3) 道路融雪設備工 電気融雪 A=799.8㎡ 4) 道路照明灯 N=8基		
特徴	1) 輻輳する他工事との綿密な工程調整 2) 維持管理性能を向上させた優れた融雪方式の提案		

写 真



完 成



道路融雪設備



道路照明

◆監督実施公所の推薦理由

- ・令和元年度の手形陸橋の工事は、本工事を含め北側の上部工補強・床版取換工事2件、車道融雪工事、舗装工事、螺旋階段補修工事及び再塗装工事の計7件の工事が同時期に集中して進められていた。特に、本工事の施工区域は手形陸橋全線に及び、他工区の工程の影響を受けるため、合理的かつ緻密な工程調整を実施した。
- ・手形陸橋北側歩道の融雪設備は、上部工形式の制約から既設設備と同じ電気融雪を採用した。本工事では、気温・水分・降雪状況などをセンサーで検知し、通電状況をよりきめ細やかにコントロールすることで、一般的な方式に比べ75%の電力使用量での融雪が可能となるシステムについて、受注者から提案があり採用した。

◆施工業者からのPR

- ・秋田市中心市街地における住家に隣接した施工区域での工事であり、作業員の無事故は勿論、明德小学校の児童及び付近住民の通行を確保しながら、第三者へ影響を及ぼさないよう、作業にあたり細心の注意を払った。結果、無事故、無災害で工事を完了することができた。
- ・同時期に施工する工事が複数有ったため、それらの進捗に合わせ作業工程を調整し、工程を遅らせることなく完成させるとともに、後施工となる工事へ影響を及ぼさないよう配慮した。
- ・電気融雪について、通電範囲を適切に制御することにより、従来より少ない契約電力量で必要な幅(2m)の融雪が可能となる方式を提案し採用された。

20 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	県単道路補修工事（簡易舗装改築） 01-G554-B0		
路河川名/地区名	秋田昭和飯田川線	施工地名	潟上市飯田川飯塚
商号又は名称	天喜建設株式会社	許可番号	05-009894
請負額	10,643,600円	工種・格付	舗装 B級
代表者	代表取締役社長 天野 貴明		
監理技術者等	現場代理人 伊藤 一志		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐々木 浩喜	監督員	五十嵐 祐光
工期	令和元年10月4日～ 平成元年12月9日	完成年月日	平成元年12月9日
概要	1) 施工延長 L=303.0m、平均幅員W =7.9m 2) 路面切削 A=2,380m ² 3) 表層 A=2,380m ²		
特徴	1) 交通量が多い箇所での舗装工事 2) 地元と調整を図りながら実施した工事		
写 真			
 <p>完成</p>		 <p>超音波センサー使用による平坦性の向上</p>	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、舗装劣化に伴う舗装補修工事である。 ・本区間は、交通量の比較的多いところであり、施工にあたっては地元と調整を図り、交通誘導員や保安施設を適切に配置した。 ・路面横断測量にあたっては、交通規制が不要なトータルステーションを使用することで、安全性の確保と交通規制にかかるコストの縮減に努めた。 ・施工にあたっては、路面切削機に飛散防止カバーを設置し、周辺への安全対策を実施した。 ・舗設時には、舗装フィニッシャに超音波センサーを使用し、的確な高さを測定して、舗装の平坦性の向上に努めた。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・当該工事箇所は、民家が密集しており、一般交通を確保しながらの施工であったため、路面切削機に飛散防止カバーを装着し、廃材の飛散を防止した。さらに、タイヤへの乳剤の付着を防止する高性能改質アスファルト乳剤を使用し、周辺環境への配慮に努めた。 ・舗設機械への超音波センサーの使用等により平坦性の向上を図り、出来形の確保に努めた。 ・地元の要望を受け、発注者と協議の上、未使用の植樹帯を撤去し、歩きやすい歩行空間の確保を図るなど、地域貢献に積極的に取り組んだ。

2 1 第 4 1 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	地方街路交付金工事 30-SB41-10		
路河川名/地区名	千秋広面線	施工地名	秋田市千秋城下町
商号又は名称	株式会社黒澤塗装工業	許可番号	05- 007615
請 負 額	38,878,820 円	工種・格付	一般塗装 A級
代 表 者	代表取締役 黒澤 晋一		
監理技術者等	現場代理人 嵯峨 清		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	菅原 昭磨	監 督 員	松塚 忠政、藤原 元気
工 期	平成31年3月29日～ 令和元年11月22日	完成年月日	令和元年11月22日
概 要	1) 手形陸橋螺旋階段 再塗装 N=2基 (Rc-I A=820㎡、Rc-III A=88㎡)		
特 徴	1) 複数工事が輻輳する現場条件下での徹底した工程管理 2) 鉄道が近接する市街地内の現場への環境配慮		
写 真			
 <p style="text-align: center;">完 成</p>		 <p style="text-align: center;">粉塵飛散防止など徹底した環境対策</p>	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、手形陸橋の鉄道横断部に設けられた螺旋(らせん)階段の再塗装工事である。螺旋階段は設置から30年余りが経過し、腐食が進み発錆が甚だしかった。 ・冬季の凍結防止のための階段部電熱ヒーターや、灯具の交換及び破損鋼材の交換を実施する、別途発注の補修工事と並行して実施された。 ・足場の設置・撤去においては、他工事との調整を図り、旧塗装のケレン作業など、他者の立ち入りを制限しながら、安全かつ確実に再塗装工事を実施した。 ・当該施工箇所は、市街地内に位置しており、近隣住民への配慮が必要であったことから、粉塵飛散防止など徹底した環境対策を行った。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・素地調整においては、防災シートを二重に敷設し粉塵の飛散防止対策を行い、周辺民家及び鉄道に対する環境配慮に努めた。 ・粉塵により足場内の視界が悪くなるため集塵機を設置し、作業環境の改善に努めた。 ・塗装工においては、NETIS登録されている高塗着スプレー塗装工法を採用し、スプレーミストの飛散抑止を図り、第三者等への被害防止と足場内の良好な視界確保に努めた。 ・現場内にある昇降階段に付着した遊離石灰質の除去や、引込開閉器盤の塗装塗膜の補修等、積極的な景観の美化に取り組み、地域へ貢献した。

2 2 第 4 1 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	大内地区 ため池等整備（ため池）工事 02205-K01		
路河川名/地区名	大内地区	施工地名	由利本荘市岩谷麓
商号又は名称	菊地建設株式会社	許可番号	05-001240
請 負 額	92,794,900 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 橋本 聡		
監理技術者等	現場代理人 伊藤 博明		
監督実施公所	由利地域振興局（農林部）		
主任監督員	茂内 博哉	監 督 員	袴田 直幹
工 期	令和元年6月28日～ 令和2年3月13日	完成年月日	令和2年3月13日
概 要	1) 堤体工 N=1式 2) 取水施設工 N=1式		
特 徴	1) 隣接ため池早期利用のため、工期に制約のある工事 2) 天候の影響を受けやすい堤体盛土工事		
写 真			
			
完成（堤内側）		完成（堤外側）	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、農業用ため池の堤体及び取水施設等の改修工事である。当該ため池は、施設全体の老朽化により、貯水池としての機能が損なわれ、堤体の安定上危険な状態であったが、現場状況に応じた施工と厳密な品質管理により、優れた出来映えと品質を確保した。 ・施工性を考慮した省力化かごマットの採用や、RI計器を用いた現場密度の測定等により工期短縮に努め、適切な工程管理を行ったことで早期に工事を完成させた。 ・現場内敷鉄板の清掃の徹底や、作業足場の整備により、作業員の安全性確保や衛生環境の向上に努め、土取場周辺の除草や側溝の清掃等を定期的に行い、建設業のイメージアップを積極的に図った。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・下流側に隣接する樽堤ため池が工事完成までの期間、落水する必要があり着手前の地元説明会において、工事を早期に完成させ樽堤を満水にしたいと地元関係者より強く要望された。 ・工程を短縮する取組として、かごマット施工の材料を、従来品より強度が高く施工が早い省力化かごマット「ハイパーマット平張り型」を使用するなど、施工方法の工夫や、綿密な工程管理を行い、早期に完成させ、樽堤ため池を12月末までに満水にすることができた。 ・地元への対応として積込場の変更や掘削方法の検討、期間中の除草、大雨後の側溝清掃を確実に行うなど、様々な取組により苦情発生0件で、工事を終了することができた。

23 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	海岸防災対策工事 30-MR32-10		
路河川名/地区名	仁賀保海岸	施工地名	にかほ市芹田
商号又は名称	村岡建設工業株式会社	許可番号	05-082020
請負額	90,544,320円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 村岡 兼幸		
監理技術者等	現場代理人 佐々木 慶治		
監督実施公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	富樫 亨	監督員	小鷹 康方
工期	平成31年1月25日～ 令和元年12月24日	完成年月日	令和元年12月20日
概要	1) 施工延長 L=50m 2) 基礎捨石工 V=315m ³ 3) 被覆石工 V=84m ³ 4) 堤体工 V=447m ³ 5) 裏込工 V=470m ³ 6) 消波工 N=513個		
特徴	1) 工程の圧縮及び波浪災害の回避 2) 地域貢献や安全衛生対応の充実		
写 真			
			
完成		吊り荷機械の大型化による作業工程圧縮	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、老朽化が著しい仁賀保海岸（芹田地区）の海岸保全施設を改修するものである。 ・海岸工事であることを踏まえ、受注者は荒天や波浪による工程遅延、浸水災害回避を模索し、堤体の「プレキャスト化」、吊り荷機械の「大型化」を提案。作業工程圧縮や災害回避が図られ、高度な施工管理は評価される。 ・民家と近接しているため、騒音対策として民家側に防音シートを設置、取壊しはコンクリート解体用のアタッチメント大割を使用して、騒音の低減に留意した。 ・地域貢献や安全衛生（協力業者との合同安全パトロール、災害対応訓練など）の対応は、他工事の模範となるものである。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・海岸工事のため、11月に入ると荒天・波浪による不稼働日が多くなるので、早期に現場の施工を完了させる必要があったが、堤体部の施工が2箇所に分かれており同時施工が出来なく、さらに、波浪による浸水等で災害を受けて工程に影響を及ぼす恐れがあったため、堤体には通常の型枠を使用せず、承諾によりプレキャスト波返しを使用し、作業工程短縮及び災害の回避を図った。 ・吊り荷作業には、作業半径の広い65tラフタクレーンを使用するなど、作業工程短縮及び災害の回避を図り、適切な安全対策を行いながら作業を行い、10月末には現場作業を完了した。

24 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	河川改修工事 01-KA23-10		
路河川名/地区名	芋川	施工地名	由利本荘市徳沢
商号又は名称	株式会社鳥海リース	許可番号	05-009883
請負額	71,262,400円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 鈴木 一明		
監理技術者等	現場代理人 佐々木 正紀		
監督実施公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	小林 浩明	監督員	加藤 忍
工期	令和元年8月30日～ 令和2年3月16日	完成年月日	令和2年2月20日
概要	1) 施工延長 L=445.0m 2) 築堤盛土 V=7,230m ³ 3) 植生工 A=870m ² 4) 法面整形 A=1,530m ²		
特徴	1) 新技術による施工（ICT技術による築堤） 2) 工程管理・安全対策の徹底		
写 真			
 <p>着手前</p>		 <p>完成</p>	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は一級河川芋川における河川改修を目的とし、築堤及び河道掘削を行った。
- ・工事用道路が隣接する他工事と重複したが、工程の調整を図り工夫することで、一般交通への影響及び作業時の安全確保が図られた。
- ・降雨等における盛土材の含水量の変化による品質低下を防ぐため、含水比試験を適時実施し、盛土の品質の確保を図った。
- ・右岸側の河道掘削箇所は、完成堤防区間と未着工区間が存在していることから、河川増水時の越流対策のため、現場内に仮置している盛土材料を有効利用し、仮堤防を設置するなどの創意工夫も評価できた。

◆施工業者からのPR

- ・築堤に用いる盛土材の品質管理において、自社で定めた目標値をクリアすべく、天候等による日々の含水比の変化を頻繁に確認しながら施工を行った。
- ・本工事で使用を予定していた工事用道路が、別発注工事の交通規制と重複したため、工事用道路を変更することで、一般交通への影響を少なくし安全確保ができた。
- ・ICT施工モデル工事であり、各施工機械にICT機器を設置し適切な運用を図ることで作業効率の向上と良質な品質管理を実施でき、同時にコスト面の縮減にもつながった。

25 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	強首地区 ため池等整備（ため池）工事 02902-K02		
路河川名/地区名	強首	施工地名	大仙市強首
商号又は名称	株式会社荒屋舗建設	許可番号	05-002793
請負額	179,018,080 円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 今野 春夫		
監理技術者等	現場代理人 大坂 晃一		
監督実施公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	佐藤 隆志	監督員	岩沢 竜太
工期	平成30年11月5日～ 令和2年3月13日	完成年月日	令和2年3月13日
概要	1) 取水施設工 N=1式 2) 洪水吐工 L=73.4m 3) 地盤改良工 N=1式 4) 水位調整工 N=1式		
特徴	1) 洪水吐側壁の施工性を改善するため3D画像、模型を作成 2) 限られたスペースの中での他工事との連絡調整、工程管理		
写 真			
			
完成写真		図面融合写真	
		現場見学会	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・洪水吐工の形状が複雑であったが、事前に3D画像及び模型を作成し現場との整合確認を行い、施工性の改善提案をするなど、施工に際し十分な検討と工夫が見られた。
- ・排水方法の対応が特に必要となる工事であったが、施工段階に応じて、旧底樋、ポンプ、自然排水へ適宜切り替えながら施工し、現場条件の変化への対応も迅速であった。
- ・現場の入り口が1箇所しかなく限られたスペースの中で、他工事（盛土工事・ゲート工事）との連絡調整、工程を密に行いスムーズに進捗することが出来た。
- ・工事期間中に地元高校生及び秋田県議会議員、地域振興局職員を対象とした現場見学会を開催し、事業PRや若手職員へのスキルアップに貢献した。

◆施工業者からのPR

- ・複雑な構造物であったことから、ドローン、3D画像及び模型でイメージ化を図った。
- ・工事現場の現場状況と進捗を詳細に把握する為に、施工平面図とドローンによる空中撮影写真を融合させ、進捗管理や打合せ・現場視察等に利用した。
- ・旧底樋の撤去・閉塞に際しては、導水路部分はブレイカー工法で大型ブレイカーを使用して取壊し、洪水吐部分はエアモルタル工法で旧底樋を地下空洞部に充填し閉塞した。
- ・工事車両が住宅地を通行する際は徐行し、荷を積んだ車と空の車とでルートを変え工事車両の交差がないよう一方通行とし事故防止・苦情ゼロに努めた。

26 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	三条川原地区 農地集積加速化基盤整備工事 05605-K06		
路河川名/地区名	三条川原地区	施工地名	大仙市北野目
商号又は名称	高吉建設株式会社	許可番号	05-000041
請負額	243,971,500円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 佐藤 利昭		
監理技術者等	現場代理人 伊藤 義美		
監督実施公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	高橋 忍	監督員	柿崎 杏奈
工期	平成30年10月3日 令和2年3月27日	完成年月日	令和2年3月27日
概要	1) 揚水機場工 N=1式 2) 仮設工 N=1式		
特徴	1) 雄物川の国直轄管理区間の仮締切、旧揚水機場の撤去、新設 2) 吸水槽の一部工場製作の採用による、大幅な工期短縮		
写 真			
			
完 成		正 面	
吸水槽(工場製品) 据付状況			

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事施設は、受益面積79haのかんがい用水であり、限られた期間に施工しなければならない厳しい工程であったが、現場代理人の適切な工程管理によって工期内に工事を完成させた。 ・ 本工事の準備段階での深淺測量の結果、河床変動があり当初計画を変更する必要があったが、仮締め切り計画の再検討や工程見直しの際に、現場代理人から吸水槽の一部を工場製作するなどの提案を受け、工期の短縮を図ることができた。 ・ 国直轄管理区間の河川を締め切りし、施工する難易度の高い工事であったが、作業の中止や退避の基準を設定し、常に防災等の情報収集を徹底し安全管理に努め、公衆災害等を発生させることなく工事を完成させている。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事は、非出水期の雄物川右岸側を仮締切して施工する工事であったが、着手後の深淺測量の結果、河床変動があり、当初の仮設計画を見直す必要があった。それに伴う関係機関との協議や工程の見直しにより、吸水槽の一部を工場製作することで、大幅な工期の短縮を行った。 ・ 現場打設箇所においては、足場・鉄筋・型枠・ポンプ車・生コン工場との連絡調整をおこない、フォローアップをしながら工程内におさめることができた。 ・ 関連する3工事の幹事会社として構造の詳細な精査・修正等を行い工程調整に努めたほか、隣接する国交省の護岸工事と工事用道路を共有する調整も行い、円滑な工事の推進に努めた。

27 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	生保内南地区 農地集積加速化基盤整備工事 07504-K14		
路河川名/地区名	生保内南地区	施工地名	仙北市田沢湖生保内
商号又は名称	日高建設株式会社	許可番号	05-008595
請負額	135,091,000円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 日高 英樹		
監理技術者等	現場代理人 進藤 広美		
監督実施公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	佐藤 善弘	監督員	長谷川 龍彦
工期	令和元年10月28日～ 令和2年3月26日	完成年月日	令和2年3月26日
概要	1) 幹線用水路工 L=369.2m 2) 石礫処理工 A=7.0ha		
特徴	1) 構造物及び曲線の多い水路工事 2) 宅地の近接工事		
写 真			
			
完 成		施工状況	
半アーチ型の養生屋根			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、一級河川生保内川から水田に導水するための用水路工事である。
- ・曲線が多い現場において、割付図を作成し斜切加工の二次製品を提案することで、冬季間かつ住宅密集地での現場切断加工や、現場打箇所を不要としたことにより、現場施工期間の短縮や周辺環境への配慮など工夫が見られた。
- ・積極的に地域住民や関係団体とのコミュニケーションを図り、水替時の振動・騒音対策を行ったほか、住民の出入りや通学路を確保するなど安全に現場を完成させた。
- ・冬工事のためコンクリートの品質管理が課題となっていたが、半アーチ型の養生屋根や養生温度の管理により適切な品質を確保した。

◆施工業者からのPR

- ・幹線用水路工の施工区間が住宅密集地であることから仮設電力を使用し振動騒音対策を図った。
- ・曲線が主だったため、割付図を作成し斜切加工の二次製品にすることで、切断や現場打箇所を不要とし、冬期間中の作業効率及び出来映えの向上を図った。
- ・コンクリート養生は、デジタル内部温度計によりコンクリートの内部温度を測定することで、良質な品質を確保した。
- ・地域住民に十分に説明をして理解を得たほか、緊急時の対応のため警察、消防との連絡、情報提供を密に行い、トラブルもなく無事故無災害で工期内に完成する事ができた。

28 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	前沢線 森林資源循環利用林道整備工事 RF1204A911		
路河川名/地区名	前沢線	施工地名	大仙市協和峰吉川
商号又は名称	進藤建設株式会社	許可番号	05-002019
請負額	100,005,200円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 進藤 章		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 洋平		
監督実施公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	塩谷 学	監督員	加藤 貴志
工期	平成31年3月29日～ 令和2年3月19日	完成年月日	令和2年3月19日
概要	1) 林道開設 L=803.3m W=4.0m 2) 重力式コンクリート擁壁3基、ブロック積擁壁2基、ボックスカルバート2箇所ほか		
特徴	1) 本路線内で最も溪流と並行する線形となる区間での作業		
写 真			
 <p style="text-align: center;">完 成</p>		 <p style="text-align: center;">クレーン仕様のバックホウでの 設置作業</p>	
		 <p style="text-align: center;">ボックスカルバートの 軽量化</p>	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・当該工事は、総延長8.185kmを計画している森林管理道の起点から約4.5km入った区間の工事である。 ・これまで、路線の起終点両側から事業実施してきたが、今回の工事で両区間が繋がる工事内容となっている。 ・工事区間が溪流沿いのため、重力式擁壁工3基、ブロック積擁壁工2基、その他複数の構造物の施工が主な工事内容で、狭い作業ヤードでの施工となったが、的確な施工管理と高い技術力で良好に工事を完成させた。また、施工条件が厳しく工種も多い中、徹底した工程管理や施工の工夫によって、事故もなく工期内に完成させたことは優良工事にふさわしいものである。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・施工（土工）区間の起・終点部に大型ボックスカルバートの据付があり、工期内に完工できるか懸念されたが、暗渠の仮設やパイロット道路を設けることにより、土工の進捗を確保した。 ・大型ボックスカルバートの施工では、大型クレーン車の作業ヤードの確保が難しかったことから、監督員、製品製造会社と協議を重ね、製品の長さを短くすることで軽量化を図り、クレーン仕様のバックホウでの設置作業とした。 ・全線において、溪流沿いに切土や盛土を伴う工事であるが、下流域で渓流水を農業用水としているため、水質の保全が必要であったが、既設治山堰堤を活用し汚濁水の流出を防いだ。

29 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	河川災害復旧助成工事 30-KJ11-10		
路河川名/地区名	檜岡川	施工地名	大仙市南外
商号又は名称	株式会社小笠原組	許可番号	05-060314
請負額	268,243,060円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 小笠原 武男		
監理技術者等	現場代理人 加藤 誠		
監督実施公所	仙北地域振興局(建設部)		
主任監督員	加納 義之	監督員	米田 淳博
工期	平成30年12月14日～ 令和元年12月13日	完成年月日	令和元年12月13日
概要	1) 施工延長 L=431.2m 2) 築堤盛土 V=7,300m ³ 3) 護岸工 A=3,386m ² 4) 取水施設 N=1基		
特徴	1) 平成29年7月豪雨で氾濫・被災した檜岡川の改良復旧工事 2) 地域の関心が非常に高く、早期の工事完成が望まれていた		
写 真			
完成写真 (NO.15より上流側)		完成写真 (終点より下流側)	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、平成29年7月豪雨により被災した箇所への復旧工事であり、地域住民から早期完成が望まれている中、現場条件の変化に対し高い技術力で対応した優れた工事である。 ・施工期間中に発生した地震による地山崩落に対して、不安定土砂を安全かつ確実に除去する手法を迅速に提案し現場措置を行い、これにより現場作業の早期再開が図るなど、自然的条件の変化等に対して、高い意識をもって対応していることが特に優れている。 ・檜岡川施工者安全協議会会長として工事中の全19工区を統括し、現場周辺の交通管理、工程管理、工事広報の作成・配布などを率先して行うなど、地域の方々とのコミュニケーションをとる姿勢は他の模範となるものであった。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・檜岡川は幾度となく災害に見舞われた河川であるため、施工中における豪雨・出水・他天災への対応を重視した。天気予報と河川水位の確認、降雨後の地山点検、重機保管場所の周知のほか、施工中に感じたことの『報・連・相』について徹底した。 ・安全協議会の会長として取りまとめ役をさせていただき、各社の工程のとりまとめ、工事だよりの作成、配布を代表して行った。また、工事車両通行に伴い、看板の設置による交通安全の配慮、傷んだ舗装の補修、通学路の箇所では小学生下校時の誘導による事故防止の徹底など、交通管理に力を入れ、苦情、トラブル、交通事故等がなく工事を進めることができた。

30 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	河川災害関連工事 30-KH10-20		
路河川名/地区名	淀川	施工地名	大仙市協和下淀川
商号又は名称	はりま建設株式会社	許可番号	05-009802
請負額	330,260,700円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 播間 泰		
監理技術者等	監理技術者 藤田 隆博		
監督実施公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	木場 俊明	監督員	滝口 凌
工期	平成31年3月29日～ 令和2年3月16日	完成年月日	令和2年3月16日
概要	1) 施工延長 L=886.5m 2) 掘削工 V=91,900m ³ 3) 護岸工(大型連結ブロック) A=1,498m ²		
特徴	1) 平均施工幅80m、延長約1kmで水中掘削を伴う大型土工事 2) ICT導入と仮締切(施工ブロック分け)による濁水軽減へ配慮した工事		
写 真			
			
完成		ICT建機による施工状況	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農繁期や出水期の重なる工期の中、適切な工程管理に努め、約92,000m³の掘削・搬出工事を完成させた。また、淀川災害関連事業の一連区間における最終工事として、全体の水路や農道、揚水機場等の補修・整備の修復に尽力し、地域のために貢献したことは評価できる。 ・ 残土運搬先が2箇所と点在し、また、通行量の多い国道341号のダンプ走行であったが、速度パトロールや騒音・振動測定、直轄工事との共同利用となった残土受入に関する調整を綿密に行うなど、徹底した安全管理で事故、苦情ゼロで搬出を完了した。 ・ 農業用水への汚濁防止と用水取水期の施工確保をのため、仮締切による施工箇所の分離や、仮設送水パイプを設置するなど、創意工夫が見られる。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 河床掘削が水中施工となったため、ICT建機を導入し、3Dによる断面管理と人力による直接管理の併用で水中施工の精度を向上させた。 ・ 掘削土で仮締切を造成し、施工ブロックと河川流水部を分離することで、濁水軽減を図った。 ・ 農繁期に利用される揚水機場（3基）に対し、仮締切と仮設パイプによる直接水源を確保し水を供給、揚水利用者への配慮をした。 ・ 土地改良区や農業法人、近隣住民に広報を配布し理解・協力を得る等、地域とのコミュニケーションを取り、運搬路・出入口の補修などを行った。


3 1 第 4 1 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	河川災害関連工事 29-KH11-57		
路河川名/地区名	土買川	施工地名	大仙市刈和野
商号又は名称	株式会社斎兵組	許可番号	05-009969
請 負 額	273,308,420 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 齋藤 法		
監理技術者等	現場代理人 古川 雄太		
監督実施公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	木場 俊明	監 督 員	加藤 智、浦山 広幸
工 期	平成30年10月15日～ 令和2年3月27日	完成年月日	令和2年3月27日
概 要	1) 施工延長 L=101.3m 2) 築堤盛土 V=3,860.0m ³ 3) A1橋台(鬼沢橋) N=1基 4) 排水樋門 N=1式		
特 徴	1) 築堤護岸、樋門継ぎ足し、橋梁下部工と工種が多岐にわたる工事		
写 真			
			
全景		A1橋台 1基	場所打杭コンクリート打設後の 大型土のう投入による圧密

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年7月の豪雨で浸水被害を受け、既設堤防の被災・住宅等に甚大な被害が発生した区域であり、早急な災害復旧が要求された。 ・今回の工事は、限られた期間に築堤盛土・A1橋台・排水樋管等を施工しなければならない、厳しい工程と施工量の中で適切な工程管理に努め、工期内に工事を完成させた。 ・仮設計画においては、現場代理人自ら仮設計画を見直し、作業効率が上がるヤード作りを提案し、さらにコスト縮減を図った。 ・企業努力による地域貢献を積極的に行っており、地域からも高く評価されており他の模範となる。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・河川増水による現場内冠水の対策として仮水路計画を見直し、無事故・無災害で完工した。 ・場所打杭施工において、鉛直度の精度向上のため施工ヤードの地盤改良を行い、ケーシングマシンのズレ抑制に努めた。また、杭頭部は軟弱な層であったため、コンクリート打設後すぐに大型土のうを投入し圧密をかけることで、杭径を確保した。 ・排水樋門の施工では、新旧コンクリート打継目部にジョインボンドを使用し接着強度の強化と水密性の向上を図った。また、発電機はオイル漏れ防止仕様で環境面にも配慮した。

3 2 第 4 1 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	河川災害関連工事 KH11-12		
路河川名/地区名	土買川	施工地名	大仙市刈和野
商号又は名称	加藤建設・寒風特定建設工事共同企業体		
請 負 額	476,102,760 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	株式会社加藤建設 代表取締役 加藤 正己		
許可番号	05-002392	監理技術者等	現場代理人 川辺 晴
(構 成 員)	株式会社寒風 代表取締役社長 菅原 廣悦		
(許可番号)	00-023067	(監理技術者等)	主任技術者 遠藤 真毅
監督実施公所	仙北地域振興局 (建設部)		
主任監督員	木場 俊明	監 督 員	高橋 賢伍
工 期	平成30年7月6日～ 令和2年2月28日	完成年月日	令和2年2月28日
概 要	1) 施工延長 L=385.0m 2) 築堤盛土工 V=31,040m ³ 3) 護岸工 A=1,493m ² 4) 排水樋門工 N=1式		
特 徴	1) 平成29年7月豪雨で氾濫・被災した土買川の改良復旧工事 2) 築堤護岸、排水樋門・取水施設改築など多岐にわたる工種		
写 真			
			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 完成写真(起点) 完成写真(終点) 排水樋門 </div>			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 本工事は、平成29年7月豪雨で氾濫・被災した土買川の改良復旧工事である。工事内容に排水樋門や取水施設の改築工事も含まれ施工時期や施工ヤード等に制約がある中、川表側の仮締切工法について有効な提案をするなど、計画的に工事を進めるための工夫により、無事故・無災害で工事を完成させた。
- ・ 築堤盛土等に関連する搬入土砂が35,000m³に及び、ダンプトラック6,000台以上の運搬を伴うため、ダンプトラックの運行管理の徹底、雨天時における道路汚損防止の徹底、冬期間におけるスリップ事故防止に努め、公衆災害を発生させることなく工事を完成させた。

◆施工業者からのPR

- ・ ダンプトラック6,000台以上の運搬を伴うため、運行管理の徹底、雨天時における道路汚損防止の徹底、冬期間におけるスリップ事故防止に努めた。
- ・ 測量作業と出来形管理にICT技術を活用することで、工事計画から3次元データを測量モバイル端末に取り込み、施工箇所を問わず作業が出来るよう効率化を図った。
- ・ 若手女性職員による安全パトロールを実施し、女性特有の観点から現場の危険箇所を抽出して事故防止に努めた。また、VRを活用した安全訓練を実施し、座学に偏りがちな教育訓練に工夫を加えたことで、無事故・無災害で工事を完工することができた。

3 3 第 4 1 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	山城堰地区 ため池等整備（河川対応）工事 01603-K02		
路河川名/地区名	山城堰地区	施工地名	横手市大森町本郷
商号又は名称	伊藤建設工業株式会社	許可番号	00-024734
請 負 額	149,661,600 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役社長 中村 清昭		
監理技術者等	現場代理人 照井 勝		
監督実施公所	平鹿地域振興局（農林部）		
主任監督員	保坂 学	監 督 員	佐々木 貴大
工 期	令和元年9月6日～ 令和2年3月23日	完成年月日	令和2年3月23日
概 要	1) 護床工 N=1803個 2) 護岸工 A=830.6m ²		
特 徴	1) 河川内での作業とブロックの数が1800個余りで、水替えが課題であった 2) 護床工と並行し行う事から、工程管理を徹底した		
写 真			
			
完 成		完 成 (仮締切撤去前)	
護床ブロック据付状況			

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、雄物川本流に位置する頭首工下流の護床ブロック及び護岸工の設置工事である。 ・国交省の許可期間内での完成が求められる中、記録的な暖冬のため水位が高く現場条件は困難を極めたが、緻密な工程管理と的確な仮設計画が優秀であった。 ・河道整正には、河川内の土砂を使用する計画であり、川幅100m超を効率的に運搬するため、自主的にスクレープドーザーを搬入・使用するなど効率的な取組が顕著であった。 ・護床ブロック製作との連携を密にし、搬入・設置に遅延が起きないように連絡体制を構築した。 ・ICT技術を活用した測量及び丁張作業により、設計値との誤差やミスを少なくし、出来形品質管理の作業の短縮を積極的に行った。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、鮭の捕獲を行う場所であり、10月から11月15日まで本流への進入が制約されていたため、仮締切の施工が計画工程より遅れが生じました。 ・護岸工の床掘り作業では、本流の水位が高い上、浸透する水量が多かったため、水替えが予想以上に困難でした。水替えの水中ポンプを上流側と下流側に配置し出来る限りドライの状態です施工を進め、護岸・護床工の同時進行を行うため班編成を増やし、遅れていた工程を修正することにより工期限内に完成することが出来ました。

3 4 第 4 1 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	南郷支線 林業専用道（規格相当）整備工事 RG1203A001		
路河川名/地区名	南郷支線	施工地名	横手市山内筏
商号又は名称	有限会社野崎建設	許可番号	05-070132
請 負 額	15,518,520 円	工種・格付	一般土木 B級
代 表 者	代表取締役 野崎 秋夫		
監理技術者等	現場代理人 柴田 亮		
監督実施公所	平鹿地域振興局（農林部）		
主任監督員	畠山 市成	監 督 員	吉田 勇人
工 期	平成30年12月7日～ 令和元年9月24日	完成年月日	令和元年9月20日
概 要	1) 林業専用道開設 L=400.0m、W=3.5m		
特 徴	1) 急峻な山間地における林業専用の道路開設工事		

写 真



ドローンによる施工管理



ドローンによる安全監視



サイレン付き拡声器による施工指示


◆監督実施公所の推薦理由

- ・地形が複雑で急峻な山間地における厳しい条件の中、工期の遅れ・労働災害・地元住民とのトラブルも無く、丁寧な施工管理や品質管理が行われており、工事の出来映えも良好であった。
- ・安全衛生管理として、他業者との合同パトロールの実施やドローンを活用した高所作業の安全管理など、新たな取り組みが行われていた。
- ・横手清陵学院女子生徒の現場研修の受け入れを実施するなど、地域への貢献や建設業担い手確保に関わる積極的な取り組みが評価できる。
- ・創意工夫、安全管理の取り組み及び最新技術の受け入れに積極的で、他の工事の模範となるものであった。

◆施工業者からのPR

- ・本工事では、2,000m³の土量移動を伴う、林業専用道の工事を施工しました。施工区間に沢目の暗渠管施工があり、下流では沢水の農業用水利用をしておりましたので、汚濁及び水質汚染防止の対策に努めて施工を進めました。尚、暗渠の吐口部にはコンクリートに代わる新素材を利用し、管口保護を低コストにて提案施工しております。
- ・高所作業を伴う工種では、フルハーネスの安全帯の使用を徹底し、ドローンによる安全監視を行ったうえで安全に施工を行いました。
- ・熊による獣害が多発している区域でしたので、猟友会講師による安全講習を実施しました。

35 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	河川災害復旧助成工事 30-KJ10-30		
路河川名/地区名	上溝川	施工地名	横手市大森町上溝
商号又は名称	伊藤・マルサ特定建設工事共同企業体		
請 負 額	396,780,200 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	伊藤建設工業株式会社 代表取締役社長 中村 清昭		
許可番号	00-024734	監理技術者等	現場代理人 藤倉 一彦
(構 成 員)	株式会社マルサ建設 代表取締役 佐藤 義美		
(許可番号)	05-001264	(監理技術者等)	主任技術者 伊藤 聡
監督実施公所	平鹿地域振興局 (建設部)		
主任監督員	由利 一	監 督 員	藤原 一馬
工 期	平成31年3月22日～ 令和2年3月27日	完成年月日	令和2年3月26日
概 要	1) 施工延長 L=224.8m 2) 河川土工 N=1式 3) 大型連結ﾌﾞﾛｯｸ A=1,502m ² 4) コンクリートﾌﾞﾛｯｸ積 A=1,155m ² 5) 取水堰工 N=1式 6) 魚道工 N=1式 他		
特 徴	1) 耕作者等地元調整を必要とする取水施設設置工事 2) 河川合流部における仮設工 (河川切廻し)		
写 真			
			
完 成	ダクト式熱風ヒーターの使用		地元高校生のインターンシップ

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事は、平成29年7月の豪雨により被災した上溝川の河川災害復旧助成事業である。 ・ 取水堰本体を含む多くの工種が、8月の取水時期が過ぎてから施工するという条件の中、三次元設計データ作成システムを使用し、工期短縮に努め工程管理に優れていた。 ・ 縦断方向に長い寒中コンクリートの施工においては、給熱温度が均等になるようダクト式熱風ヒーターを使用し、養生温度記録計を配置することにより、正確な品質管理に努めていた。 ・ 地元高校生のインターンシップ及び建設女子現場見学会の受入れを実施し、建設業の担い手育成に積極的であり、他の模範となる活動がみられた。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事は取水堰の施工をメインとしており、取付擁壁工→取水樋管→操作室→既設堰撤去→取水堰→ゲート→魚道工という順序で作業を行う必要があり、工程管理に非常に苦労しました。 ・ 河川の合流部では、河川の流れを阻害しないよう仮設計画を立案し、急な増水にも対応できるように大型土のうによる補強を行いました。 ・ 土地改良区や地元住民と密接した環境下での施工となっていたため連絡調整を行い、取水時期の施工においては、営農に影響を与えないよう施工箇所、方法を選定し作業を実施しました。 ・ 品質管理においては、寒中コンクリート施工で養生方法を工夫し、品質の向上に努めました。

36 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	河川災害復旧助成工事 30-KJ10-10		
路河川名/地区名	上溝川	施工地名	横手市大森町上溝
商号又は名称	吉田・泉谷特定建設工事共同企業体		
請 負 額	384,663,100 円	工 種・格 付	一般土木 A級
代 表 者	株式会社吉田建設 代表取締役 吉田 博行		
許 可 番 号	05-002514	監 理 技 術 者 等	監理技術者 和泉 謙太郎
(構 成 員)	有限会社泉谷土木 代表取締役 泉谷 悟		
(許 可 番 号)	05-008036	(監 理 技 術 者 等)	現場代理人 佐々木 拓也
監督実施公所	平鹿地域振興局 (建設部)		
主任監督員	由利 一	監 督 員	小野寺 裕司
工 期	平成31年3月22日～ 令和2年3月27日	完 成 年 月 日	令和2年3月26日
概 要	1) 施工延長 L=638.3m 2) 河川土工 N=1式 3) 大型連結ﾌﾞﾛｯｸ A=962m ² 4) コンクリートﾌﾞﾛｯｸ積 A=2901m ² 5) 排水樋管工 N=1式 6) 橋梁下部工 N=1式		
特 徴	1) 隣接する他の施工企業との工程調整を必要とする工事 2) 既設橋台の一部を活用した品質確保が難しい橋梁下部工設置工事		
写 真			
			
完 成	暑中コンクリートの被覆養生		地元高校生のインターンシップ

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 本工事は、平成29年7月の豪雨により被災した上溝川の河川災害復旧助成事業である。
- ・ 施工箇所が3工区に分割されている他、橋梁下部工、樋管工など複数の構造物を設置する工事であったが、関連工区との工事間調整、工程のフォローアップ等により工期限内に完成させた。
- ・ 隣接する地元耕作者の営農計画に配慮し、短期間で工事をさせるなど機動力に優れていた。
- ・ 橋梁下部工事では、既設橋台の一部を取壊しコンクリートを継ぎ足す設計であったため、品質確保に効果的な施工方法を提案するなど、精度の高い出来形・品質を求め、他の模範となる工夫がみられた。

◆施工業者からのPR

- ・ 旧橋撤去、新設下部工、排水樋管、築堤・護岸などの複数工種が集中しておりましたので工程管理に苦労しました。また、上下流・対岸で他の企業が施工している状態であったため、企業間の連絡を密にし工程の調整を行いました。
- ・ 下部工と樋管の打設は、暑中コンクリート及び寒中コンクリート施工となりましたが、養生方法を工夫し品質の向上に努めました。
- ・ A1橋台は既設縦壁の途中まで取壊し、既設主筋に配筋する設計となっておりますので、取壊し方法を工夫し既設主筋に損傷を与えることなく施工することができました。

37 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	急傾斜地崩壊対策工事 30-LI70-10		
路河川名/地区名	愛宕地区	施工地名	横手市羽黒町
商号又は名称	株式会社秋田デックライト	許可番号	05-002236
請負額	39,457,000円	工種・格付	法面 A級
代表者	代表取締役 今 満		
監理技術者等	現場代理人 清水 貴文		
監督実施公所	平鹿地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐藤 大	監督員	藤谷 耕
工期	令和元年6月21日～ 令和元年11月29日	完成年月日	令和元年11月29日
概要	1) 施工延長 L=24m 2) ロックボルト設置工 N=199本、落石防止網工 A=1,080m ² 他		
特徴	1) 急斜面で作業スペースが限られた中での施工 2) 住宅地で通常の生活を確保しながらの施工		
写 真			
			
着手前 完成 自穿孔式ロックボルト工法の実施			

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、横手市中心部の住宅地に隣接する急傾斜地での斜面对策工事である。 ・周辺には住宅の他、小学校やデイサービス等の施設があることから、着手前に工事内容を示したチラシを配布したり、ロックボルトの削孔にあたっては、低振動・防音型の削岩機を使用するなど、周辺環境へ配慮した取り組みが行われていた。 ・法勾配が平均55度の長大斜面での施工は困難を要したが、より品質の高い親綱を使用することで斜面での施工の安全を確保するとともに、作業スペースが狭いなかでも通路用に仮設足場板を敷設するなど、安全対策への取り組みが行われていた。 ・効率的・経済的となる工法を提案するなど、他の模範となる工夫がみられた。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事のロックボルト設置工では、作業性が良く、仮設足場が不要で、製品の引張強度、降伏荷重においても同等以上の自穿孔式ロックボルト工法を提案し実施したことにより、安全性、施工性、効率性も図られ、工期短縮を実現しました。 ・急勾配、長大斜面での施工は困難を要しましたが、落石を防ぐ仮設防護柵を設置したほか、現場作業員が安全に作業できるよう仮設足場板を設置するなど、安全対策に取り組み、無事工事を完成することが出来ました。

38 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	下川原堰地区 ため池等整備（河川対応）工事 01702-K02		
路河川名/地区名	下川原堰	施工地名	湯沢市八幡
商号又は名称	株式会社皆瀬土木	許可番号	05-004615
請負額	93,831,480 円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 高橋 光明		
監理技術者等	現場代理人 堀江 勇		
監督実施公所	雄勝地域振興局（農林部）		
主任監督員	佐藤 誠樹	監督員	伊藤 嘉史
工期	平成30年9月14日 令和元年6月26日	完成年月日	令和2年6月20日
概要	1) 頭首工改修 N=1基 2) 仮設工 N=1式		
特徴	1) 一級河川雄物川水系白子川での仮締切及び護岸・護床の施工		
写 真			
			
完成(全景)		完成(下流側)	
2層式沈殿槽による汚濁防止対策			

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、白子川に設置されている既設の頭首工及び護岸・護床を更新する工事であり、下流に水を流しながらも工事範囲に水が入ってこないように仮締切をしながら工事を行った。 ・河川管理者との協議で、工期や改修方法等制約を受ける工事であったが、施工計画を工夫することで事故等もなく、品質・出来ばえ共に良好であった。 ・構造物取壊しにおいて、NETIS登録技術の超低騒音ブレーカーアタッチメントを使用し、極力騒音を出さないよう施工を行った。 ・2層式沈殿槽や防油堤の設置を行い、万が一油等が流出した際にも対応出来るように河川汚濁防止に努めた。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・堰体施工における仮締切は、安全かつ施工性に重要な役割があり、3回の仮締切を行い、別発注のゴム製ゲート取付工事のためにさらに2回の仮締切を行った。 ・雪解け期や、出水期に河川が増水による仮締切崩壊の恐れがあったが、水位標を設置し日常的に河川状況を把握する事で、仮締切が一度も決壊することなく本体工事が完了できた。 ・地域住民からの協力も得て、毎月「工事だより」を配布しコミュニケーションを図り、トラブルが無く、工事を安全に完成し、自然環境の保全・復元を行い、河川利用環境の創出を図ることと地域住民と河川との豊かなふれあいのために整備することができた。

39 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	地方道路等整備工事（建設） 30-I423-10		
路河川名/地区名	大曲大森羽後線	施工地名	羽後町西新城
商号又は名称	大橋建設株式会社	許可番号	05-010939
請負額	142,012,200円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 古谷 秀克		
監理技術者等	現場代理人 長塚 寿美		
監督実施公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任監督員	長谷川 彰	監督員	高橋 勝喜
工期	令和元年10月21日 令和2年3月25日	完成年月日	令和2年3月16日
概要	1) 施工延長 L=740.0m 2) 防雪柵 L=740.0m H=3.5m 3) 防雪柵基礎 N=121本		
特徴	1) 冬季の交通視界不良等を解消するための防雪柵設置工事 2) 周辺への環境配慮		
写 真			
			
完成		完成	
低騒音・低振動の油圧式 可変超高周波型打ち込み工法			

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、主要地方道大曲大森羽後線における冬季の視程障害不良等を解消するための防雪柵設置工事である。 ・防雪柵下部工の杭施工にあたっては、建物の近接等、周辺環境への影響が懸念されたが、低騒音・低振動の打ち込み工法を採用することにより、周辺施設等への影響や苦情を回避し工事の進捗を図り、防雪柵上部工の施工にあたっては、メーカー講習会を開催し精度の向上に努めた。 ・点在する下部工狭所箇所の人力施工を機械施工とし、施工性・安全性・施工精度の向上を図るなど、随所に創意工夫が見られた。 ・上記により、出来形、品質、安全管理とも良好な優れた工事であった。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・鋼管杭上部を掘削しコンクリート基礎とするため、狭所人力作業における効率化を目標とし、人力施工をミニアスオーガーとミニバックホー油圧式プレートコンパクタの機械組み合わせにより、基面及び基礎碎石の締め固め転圧をした。これにより作業効率が向上し、工程短縮及び均一な仕上がりを保つことができた。 ・低騒音・低振動の油圧式可変超高周波型打ち込み工法を採用し、周辺住民からの苦情や施設への影響も無く、順調に鋼管杭を打ち込むことができた。

40 第41回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	狩猟技術訓練施設整備工事 SK30-10		
路河川名/地区名	秋田県立総合射撃場	施工地名	由利本荘市岩城道川
商号又は名称	菊地・村岡・高橋秋和特定建設工事共同企業体		
請 負 額	498,276,900 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	菊地建設株式会社 代表取締役 橋本 聡		
許可番号	05-001240	監理技術者等	監理技術者 佐々木 重樹
(構 成 員)	村岡建設工業株式会社 代表取締役 村岡 兼幸		
(許可番号)	00-024470	(監理技術者等)	主任技術者 鎌田 明
(構 成 員)	高橋秋和建設株式会社 代表取締役 堀江 拓成		
(許可番号)	00-022980	(監理技術者等)	主任技術者 高橋 幸成
監督実施公所	生活環境部 自然保護課		
主任監督員	二木 茂希	監 督 員	長谷川 丘
工 期	令和元年5月17日～ 令和2年3月23日	完成年月日	令和2年3月23日
概 要	1) 場内造成工 13,290m ² 2) 側溝工 707m 3) 排水処理槽工 2箇所 4) 鉛弾飛散防止ネット工 2箇所		
特 徴	1) 関連工事全体の円滑な進捗に寄与した工程管理調整 2) 新技術を積極的に取り入れた品質、作業効率及び安全性の向上		
写 真			
			
完成 (側面)		完成 (正面)	
鋼管杭の偏心量管理			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、別途工事3件が同時施工する現場であったが、関連工事との工程管理調整を緻密に行い、関連工事全体の円滑な進捗に寄与した。
- ・コンクリート構造物には、脱枠直後に表面養生剤を散布する事で、水分蒸発による乾燥収縮を低減させたほか、NETIS登録された新技術を積極的に取り入れることで、品質、作業効率及び安全性の向上に努めている。
- ・地域の高校生を対象とした現場見学会の開催や、道路クリーンアップを実施する等、地域貢献が評価される。

◆施工業者からのPR

- ・近接工事との資材搬入や、施工箇所において重複作業とならないよう、工事担当者と連絡・工程調整を密に行った。
- ・本工事においては、数多くの工種が混在する中で、施工順序や施工方法等を十分検討し、作業の効率化及び工程管理に努めた。
- ・鋼管杭における出来形管理の工夫や鉛弾飛散防止ネットの工場検査の実施、コンクリートの脱枠後の養生等、品質向上に努めた。
- ・イメージアップ看板や現場見学会の実施、道路クリーンアップ等、地域への貢献に努めた。

秋田県優良工事表彰 選考委員会名簿

選考委員長	副	知	事	堀井啓一
選考委員	総	務	部長	神部秀行
〃	農	林	水産部長	佐藤幸盛
〃	建	設	部長	小林賢太郎
〃	出	納	局長	柳田高人

秋田県優良工事表彰 幹事会名簿

幹事長	建設部建設産業振興統括監	佐藤和義	
幹事	(秋田県入札制度適正化推進委員会技術専門部会)		
〃	部	会長	及川洋
〃	専	門委員	徳重英信
〃	専	門委員	後藤文彦
〃	専	門委員	佐藤悟
〃	専	門委員	長谷川兼一
〃	専	門委員	永吉武志
〃	(秋田県知事部局関係課室)		
〃	自然保護課長	澤田智志	
〃	農地整備課長	舩谷雅広	
〃	森林整備課長	戸部信彦	
〃	資源エネルギー産業課長	阿部泰久	
〃	建設政策課長	奈良滋	
〃	技術管理課長	川辺透	
〃	都市計画課長	栗田亨	
〃	道路課長	浅井学	
〃	河川砂防課長	田森清美	
〃	港湾空港課長	伊藤邦昭	

秋田県優良工事表彰要綱

(表彰の目的)

第1条 県が発注した工事のうち、優秀な工事を施工したものを表彰することにより、建設技術の向上を図ることを目的とする。

(表彰の対象)

第2条 対象は、前年度に完成した工事とし、秋田県工事成績評定に基づき評価されたものとする。

(表彰の名称)

第3条 名称は、「秋田県優良工事表彰」とする。

(表彰の基準)

第4条 次のすべてを満足すること。

- (1) 当該工事の出来形が優秀であること。
- (2) 当該工事全般の管理状況が良好であること。
- (3) 当該企業において労働災害がないこと。
- (4) 当該企業における各工事の施工成績が良好であること。
- (5) 建設業法を遵守し、他の模範とされる施工企業であること。

(推 薦)

第5条 各所属長は、表彰することが相当と認める工事があるときは、選考委員長へ推薦するものとする。

(選考委員会)

第6条 表彰すべき工事を選考するため選考委員会を置き、その構成は、別表第1のとおりとする。

- 2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告に基づいて協議し、表彰すべき工事を決定するものとする。
- 3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。
- 4 幹事会は、各所属長より推薦のあった工事について、当該工事の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。

(表 彰)

第7条 表彰の種類は、優良工事表彰、特別表彰及び地域振興局長表彰とする。

- 2 被表彰者は、施工企業の代表者（共同企業体の場合にあっては、構成員のそれぞれの代表者）及びその工事を担当した監理技術者等とする。

(事務局)

第8条 事務局は、技術管理課に置く。

(補 則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、昭和55年5月1日から施行する。

平成10年3月27日一部改訂
平成12年4月1日一部改訂
平成16年4月1日一部改訂
平成18年4月1日一部改訂
平成19年4月1日一部改訂
平成20年4月1日一部改訂
平成21年6月1日一部改正
平成22年4月28日一部改正
平成23年4月25日一部改正
平成24年4月1日一部改正
平成28年2月9日一部改正
平成29年3月9日一部改正
平成30年3月16日一部改正

※上記要綱内の「別表第1」及び「別表第2」の構成員は、P46の名簿参照のこと

第6回 秋田県優良業務表彰 業務一覧表

測量業務部門

番号	委託業務名	路河川名 /地区名	業者名	代表者名	発注公所
1	蛭野・角間川堰地区 かんがい排水業務委託 00402-Y01	蛭野・角間川 堰地区	有限会社シード	佐藤 賢功	平鹿地域振興局
2	地形・路線測量業務委託 01-L611-Y1	下高野3号 地区	株式会社自然科学調査 事務所	鈴木 建一	仙北地域振興局

地質調査業務部門

番号	委託業務名	路河川名 /地区名	業者名	代表者名	発注公所
1	地すべり調査設計業務委託 30-8004-YB	二級河川富 津内川	奥山ポーリング株式会社	奥山 信吾	秋田地域振興局




土木設計業務部門

番号	委託業務名	路河川名 /地区名	業者名	代表者名	発注公所
1	天王東地区 湛水防除業務委託 00401-Y01	天王東地区	ウヌマ・三木共同企業体	鵜沼 順之	秋田地域振興局
2	西の沢地区 復旧治山業務委託 RB1101B071	西の沢地区	一般社団法人秋田県林 業コンサルタント	高松 武彦	北秋田地域振興局
3	地方道路交付金事業(災害防除) 補強土詳細設計業務委託 01-FI68-Y20	国道398号	株式会社測地コンサル タント	高橋 敦	雄勝地域振興局
4	上溝川災害調査設計業務委託 30-K421-Y1	上溝川	奥山ポーリング株式会社	奥山 信吾	平鹿地域振興局
5	砂防堰堤詳細設計業務委託 LC60-Y1	オバコ沢	柴田工事調査株式会社	柴田 昌英	仙北地域振興局
6	道路予備設計及び技術検討委員 会運営業務委託 30-I790-Y1	国道105号	セントラルコンサルタント 株式会社 東北支社 秋田営業所	佐藤 大起	北秋田地域振興局
7	環境調査業務委託 30-I469-Y1	国道105号	株式会社エイト日本技術 開発 東北支社	山本 浩三	仙北地域振興局

調査点検等業務部門

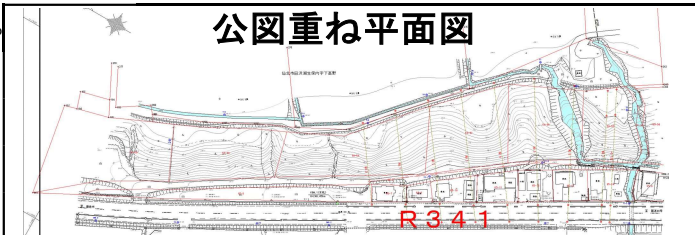
番号	委託業務名	路河川名 /地区名	業者名	代表者名	発注公所
1	地方道路交付金事業 橋梁点検 業務委託 30-FI99-Y8	国道108号 ほか	株式会社ウヌマ地域総研	鵜沼 順之	雄勝地域振興局

◆業務概要			
委託名	蛭野・角間川堰地区 かんがい排水業務委託 00402-Y01		
地区名	蛭野・角間川堰地区		
商号又は名称	有限会社シード		
請負額	3,942,000円	種別	測量業務
代表者	代表取締役 佐藤 賢功		
管理技術者	藤本 雅樹		
発注公所	平鹿地域振興局（農林部）		
主任調査員	保坂 学	調査員	上村 わこ
工期	令和元年6月14日～ 令和元年9月27日	完成年月日	令和元年9月5日
概要	排水路用地測量 A = 2.0ha		

◆受注者の声	
<p>【業務の特徴及び技術的に特に気を付けた点】 本業務は、平鹿地域振興局が管轄する蛭野・角間川堰地区において建設されるかんがい排水路の最下流に位置します。従って、今回の用地測量において関係地権者から境界の同意が得られない場合、事業自体が遅滞してしまうため、境界立会いには万全の準備を整え細心の注意を払って作業することが重要でした。</p> <p>【苦労した点】 本調査箇所は、国土調査整備地区ではあるが、昭和42年の整備で50年以上経過していることと、農耕地とは言え耕作放棄地に近い状態でした。さらに、登記名義人と耕地使用者が異なるなど様々な問題がありました。</p> <p>これらを、発注者側とリアルタイムで共有して頂き迅速な対応と指示に加え現場での地権者への事業説明などにより、地権者が事業に対する理解や、測量を行う意義を理解していただき問題点の早期解決につながりさらに、スムーズに業務を行うことができました。</p> <p>【工夫した点】 現地に直接来られない地権者への対応及び説明を行う際、図面での説明に併せて簡易的なUAVにて上空からの写真を撮影し、事業範囲がイメージ出来るような資料を作成し説明を行いました。</p> <p>また、少人数の会社の特性を生かし地権者からの電話対応や現場対応が迅速に行えるよう、全社員が業務の内容を把握し共有する体制をとりました。</p>	<p>中央道路の南側が測量箇所</p>  <p>立会い風景</p>  

◆発注公所の所見
<p>本業務は、かんがい排水事業に資する測量業務である。旧公図からの境界確定や耕地使用者が登記名義人と異なる場合等々、土地の調査に時間を割かれたが、連絡・報告を綿密に行い、また、工程管理を徹底した結果、契約期間内に終了したことから他の業務の模範となるものである。</p>

◆業務概要			
委託名	地形・路線測量業務委託 01-L611-Y1		
地区名	下高野3号地区		
商号又は名称	株式会社自然科学調査事務所		
請負額	3,781,800円	種別	測量業務
代表者	代表取締役 鈴木 建一		
管理技術者	伊藤 一宏		
発注公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任調査員	冨田 彰	調査員	佐藤 忠
工期	令和元年10月21日～ 令和2年3月25日	完成年月日	令和2年3月25日
概要	3級基準点測量 N=3点 4級基準点測量 N=13点 現地測量(1/500) A=0.03km ² 路線測量 L=0.2km		

◆受注者の声	
1. 業務の特徴	<p>本業務は、土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）の下高野3号地区において、急傾斜対策施設（待受擁壁）設計のための地形・路線測量を実施したものである。当地においては、過去の豪雨時に災害が発生しており、早急な対策施設の整備が求められていた。</p>
2. 業務上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・当地は山間部の積雪地で急傾斜地であるため測量は積雪前に早急に終了させる必要があった。 ・測量は主に民家の裏側斜面での作業となるため、個々の土地所有者の了解を十分に得た上で立ち入り、住民との間にトラブルがないようにする必要があった。
3. 業務上の工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・測量対象範囲の公図・登記簿を調査した上で、土地所有者に個別訪問して作業内容を説明し、立ち入りと樹木の小枝伐採等の了解を得てから現地作業を行った。 ・現地作業は、落葉～積雪前の時期をねらって集中して行い、基準点設置、観測、現地測量、路線測量を12月初旬までに速やかに終了した。 ・測量成果においては、平面図に公図を重ね合わせ、横断図には地番を表示し、併せて別発注の設計に役立つように積雪前の現地状況写真を多数撮影して添付した。
	<p style="text-align: center;">公図重ね平面図</p> 

◆発注公所の所見	
	<p>本業務は、土砂災害警戒区域（急傾斜地）内の法面对策詳細設計に必要な路線測量等を行うものである。</p> <p>業務箇所は秋田駒ヶ岳の麓であり、積雪前に測量作業を終了させる必要があった。作業期間に限られる中、地元地権者との調整等に不測の時間を要したが、細やかな工程管理により積雪前に測量作業を終えることができ、業務を完成することができた。</p>

◆業務概要			
委託名	地すべり調査設計業務委託 30-8004-YB		
地区名	二級河川 富津内川		
商号又は名称	奥山ボーリング株式会社		
請負額	39,372,480 円	種別	地質・土質調査業務
代表者	代表取締役 奥山 信吾		
管理技術者	栗山 大助		
発注公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任調査員	佐々木 長史	調査員	加賀 貴文
工期	平成30年5月30日～ 令和元年12月13日	完成年月日	令和元年年12月13日
概要	現地測量 0.05 km ² 用地測量 15,000m ² 地すべり調査 1式 護岸詳細設計 100m	路線測量 0.3 km 機械ボーリング（Φ66） 20m 排土工設計 1箇所 アンカー付場所打法枠 1箇所	

◆受注者の声

業務の特徴
 当業務は、2018.5.18の豪雨で発生した斜面崩壊による河川災害箇所について地質調査および対策工設計を実施したものである。被災規模は幅約36m、長さ約52m、崩壊深さ約6mで、斜面直下の富津内川を崩壊土砂が閉塞し、上下流の田圃が広範囲にわたり浸水した。梅雨時期を控え、浸水域の拡大防止を図るため、現地踏査とUAV測量に基づき仮排水路を早期に立案した。恒久対策は、河道シフト案を含めて検討し、最終的に崩壊土砂を撤去して護岸復旧する河道復旧案を最適案とした。調査段階の8.16豪雨では、上部斜面が増破し、上部斜面前面には軽微な変動がある小規模な移動ブロックを、背後には現状で変動はないが崩壊が懸念される拡大ブロックを確認した。そのため、上部斜面崩壊時の河川への影響を推定し、排土後の法面対策を検討することが課題であった。

課題解決に向けて工夫した点
 上部斜面对策の課題については、クーロン混合モデルによる土砂崩壊シミュレーションで拡大ブロックまで崩壊した際の河川への影響を推定した。崩壊時には再度河道閉塞することが推定されたため、吹付枠工+鉄筋挿入工で確実に抑止する法面対策を採用した。土砂崩壊シミュレーションには、解析結果の妥当性を確保するため、逆解析により8.16増破時の崩壊現象を再現できる解析パラメータを採用した。

◆発注公所の所見

本業務は、平成30年5月の豪雨により被災した富津内川の背後斜面調査、測量、地質調査、詳細設計、災害査定申請資料作成を行う業務である。
 時間的制約及び被災後2度の増破が発生するなど厳しい現場条件の中、受注者は密に工程を管理しフォローアップした結果、査定申請まで資料を整えることができた。

◆業務概要			
委託名	天王東地区 湛水防除業務委託 00401-Y01		
地区名	天王東地区		
商号又は名称	ウヌマ・三木共同企業体		
請負額	47,212,000 円	種別	詳細設計
代表者	代表取締役 鶴沼 順之		
管理技術者	佐藤 俊之、黒川 岳大		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任調査員	船木 孝則	調査員	越後屋 光輝
工期	令和元年8月9日～ 令和2年3月30日	完成年月日	令和2年3月30日
概要	排水機場実施設計N=1式 現況構造物調査N=1式		

◆受注者の声

本業務において技術的に工夫した点について以下に示す。

■3系統の排水流域をポンプ4台により、安心・安全な排水体制を実現

本排水機場は、高低差のある3系統の排水流域の排水処理を行う施設であり、系統毎に独立した排水ポンプを設置する必要がある。そこで、近年増加する異常気象やポンプの故障、維持管理等不測の事態への対応に向け、各流域のポンプを相互に利用できるよう背後地流域（中央部）ポンプ2台とし、3系統全体に対する排水ポンプを4台体制とした。相互補完のため吸水槽内に排水切替ゲートを設置し、流域間の排水を融通するものとしている。また、高低差のある排水流域であるため、排水融通時にはバックウォーター現象が生じ、標高の低い排水流域への逆流が想定されることから、標高が最も高い背後地流域に転倒（起伏ゲート）を設置することにより逆流防止を可能としたものである。

■土木・建築構造物の一体構造化

本排水機場の施工時には、既設排水機場の排水機能を維持した施工の実施が必要であり、敷地条件が限られていることから、排水機場規模の縮小を図る必要がある。そこで、規模縮小のため立軸形式のポンプを採用し、吸水槽と建屋を一体構造とした。これにより、敷地条件及び排水機場の規模縮小が可能となり、経済的にも有利となる。また、立軸ポンプの採用により補器類の削減が可能となり、今後の維持管理に向けて工夫を行ったものである。


【平面図(上)及び水路断面図(下)】

【排水機場断面図】

◆発注公所の所見

業務の目的、現場状況を十分に理解した上で業務を実施し、安心・安全な排水体制を実現する設計内容となっている。建設敷地等の制約もあったが、構造物の一体化・二次製品の活用など、各種課題への対応が高く評価できる。

◆業務概要			
委託名	西の沢地区 復旧治山業務委託 RB1101B071		
地区名	西の沢地区		
商号又は名称	一般社団法人秋田県林業コンサルタント		
請負額	5,027,000円	種別	詳細設計
代表者	理事長 高松 武彦		
管理技術者	前川 峰志		
発注公所	北秋田地域振興局（農林部）		
主任調査員	三浦 泉	調査員	中村 銀路
工期	令和元年6月14日～ 令和元年10月25日	完成年月日	令和元年10月25日
概要	測量業務1式 設計業務1式 計画作成等業務1式		

◆受注者の声	
<p>1. 業務の特徴 業務対象箇所は、大館市山田字西の沢地内である。調査地一帯は平成25年8月の記録的大雨により、溪流斜面の山腹崩壊や連続的な溪岸崩壊が発生した。それらの有害土砂が土石流化したことにより多量の土砂礫が流下し、保全区域である農地や林道等に多大な被害を与えた。流域内の既設ダムは満砂状態で今後の堆砂効果が期待できないことから、平成26年度に全体計画が立案され、順次整備が進んでいる。一方「平成29年7月九州北部豪雨災害」発生の際に、①水流だけの場合よりも流木の混入により破壊力が増大すること、②橋脚に流木が引っかかり河道が閉塞・決壊すると橋の流失等の甚大な被害が発生すること、などが明らかになった。近年、このような土石流・流木の河道閉塞に起因した土砂災害が多発していることから、流木対策を含めた全体計画の見直しが求められた。</p> <p>2. 業務実施上の工夫及び留意点 ○荒廃現況調査における過去調査結果との比較 平成25年8月の災害発生から6年を経過し、溪流の荒廃状況の変化が目視で確認された。これを定量的に把握するため、同一調査地点における①堆積断面の簡易計測、②写真撮影を行った。この結果から①堆積土砂量・粒径の変化、②植生の侵入状況、について比較検討を行った。</p> <p>○新工法である流木捕捉式治山ダム工の採用 流木化する可能性のある立木、倒木の捕捉を目的として、流木捕捉式治山ダム工を計画、提案した。計画箇所は、流木化する可能性のある立木、倒木が存在する箇所の直下とし、施設管理道の開設により、捕捉された流木の除去が可能な位置とした。</p>	 <p>溪流内の倒木の状況</p>

◆発注公所の所見	
<p>・本業務は豪雨により荒廃し、不安定土砂等が堆積する危険な溪流内で、予備調査から測量及び詳細設計までを一体で行う業務であったが、事故等もなく、適切な工程管理により履行期間内に完成させた。</p> <p>・実施事例の少ない流木捕捉式治山ダム工の提案であったが、現地状況をよく踏まえた効果的なダム工の計画であった。</p>	

◆業務概要			
委託名	地方道路交付金事業（災害防除） 補強土詳細設計業務委託 01-F168-Y20		
地区名	国道398号		
商号又は名称	株式会社測地コンサルタント		
請負額	3,000,800円	種別	詳細設計
代表者	代表取締役 高橋 敦		
管理技術者	千葉 洋		
発注公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任調査員	遠田 久雄	調査員	五十嵐 貴彦
工期	令和元年8月26日～ 令和2年1月16日	完成年月日	令和2年1月16日
概要	補強土詳細設計 2箇所		

◆受注者の声	
<p>【業務の特徴及び課題】 本業務は、片切・片盛で築造された道路の舗装面に亀裂が確認され、亀裂の拡大が進行しているため、その対策工法の詳細設計を行ったものである。当該箇所は自然環境保全上重要な地域（栗駒国定公園特別地域、水源かん養保安林）であるため、地形の改変を最小限に止める観点から道路敷地内で完結する工法が求められた。また、国道398号は、秋田県と宮城県の産業・経済・文化交流にとって重要な路線であるとともに観光道路でもあり、工事中も交通の安全を確保できる施工方法とする必要がある。</p> <p>【対応策】</p> <p>i) 対策工法の選定にあたっては、経済性はもとより地域特性とりわけ自然環境との調和、景観等を重視する観点から壁面緑化が可能な工法を選定した。</p> <p>ii) 良質な支持層が比較的深く、改変面積の縮小化が求められていたため、支持層までの地盤改良は原位置混合処理方式（トレンチャによる中層混合処理工法）を採用した。</p> <p>iii) 工事中の一般交通対策として、交通誘導警備員を配置し道路標識を設置するほか、夜間は保安灯を設置して遠方から工事箇所が確認できるように保安施設等の標準図を作成するなど、安全対策に配慮した設計としている。</p> <p>【工夫した点】 国道398号は、県南の特別豪雪地帯に位置し、冬期閉鎖（11月～4月）路線となっている。冬期閉鎖期間を通じて、凍上現象や凍結融解作用並びに春先の融雪水など、過酷な自然環境にさらされます。このため、表流水を確実に排水することを目的に片切部の素掘り側溝をU型側溝に改良するとともに、擁壁背面への湧水等の浸入防止と浸透した水を速やかに排除するため、縦排水溝、水平排水層及び基盤排水層を適切に配置するなど、排水対策に万全の措置を講じた。</p>	

◆発注公所の所見	
<ul style="list-style-type: none"> ・本業務は、道路盛土区間の路肩を中心とした変状を解消する対策工の詳細設計である。 ・当該箇所は、路面の亀裂が進行し、道路防災点検において対策工が必要と判定され、また、県境に近い国有林野内で立木が隣接するなど自然条件に課題があった。 ・受注者は、課題を解決するため、必要最小限の地盤改良、構造物の設置及び十分な排水処理を提案し、発注者側の設計方針にあった報告書に仕上げていた。 	

◆業務概要			
委託名	上溝川災害調査設計業務委託 30-K421-Y1		
地区名	上溝川		
商号又は名称	奥山ボーリング株式会社		
請負額	13,550,760円	種別	詳細設計
代表者	代表取締役 奥山 信吾		
管理技術者	佐藤 直行		
発注公所	平鹿地域振興局（建設部）		
主任調査員	菊地 宏樹	調査員	松井 亜矢子
工期	平成31年3月18日～ 令和元年7月31日	完成年月日	令和元年7月31日
概要	現地測量 A=0.007km ² 路線測量 L=0.06km 調査ボーリング N=2本 土質ボーリング L=23.7m 岩盤ボーリング L=9.3m 地すべり調査 N=1式 対策工設計 N=1式		

◆受注者の声


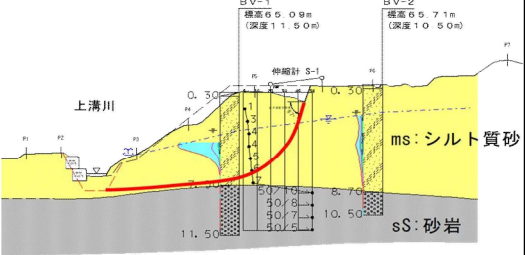
業務の特徴
 当業務は、平成29年7月豪雨で被災した上溝川護岸の復旧工事中に発生した右岸側の斜面変動に関して、現地調査・詳細設計を行ったものである。現地調査は、地形測量・調査ボーリング・地すべり計器観測などを、詳細設計は排土工・護岸工を実施した。

斜面変動発生当時、左岸にて護岸工事のための河道掘削が行われていた。それによって、右岸の斜面変動は左岸掘削区間全域におよんだ。変動規模は、幅48.4m、長さ17m、滑落崖段差1mであった。

至急、対応の方向性を出す必要があり、現地踏査、ボーリング調査、計器観測、変動監視を協議・実施した。河道閉塞については特に注意して監視した。対策検討にあたっては、融雪期であったため地下水対策に留意した他、道路から離れていること等から維持管理性も配慮する必要があった。

課題解決に向けて工夫した点
 【調査】変動中の斜面であり、二次災害の無いように調査を進める必要があった。そのため、調査ボーリング中は伸縮計と連動した警報装置を設置し、変動が発生した際いち早く避難できる体制を構築し、安全に現地調査を進めた。

【設計】融雪期に発生した斜面変動であり、地下水位上昇抑制対策が望ましいと考えられた。しかし、地下水位がさほど高くないことや、排水ボーリングの勾配をとれる地形ではなかったこと、道路から離れていることから、維持管理の必要な工法は避けることが望ましいと考えられた。以上より、長期的な視点から排土工とコンクリートブロック積み工を提案した。

◆発注公所の所見

- ・本業務においては、斜面の変動が進行している中での調査作業であったが、作業中の避難体制の構築など作業の安全管理に十分に配慮し、事故無く実施した。
- ・短期間で設計検討し、工法決定することが求められていたが、現地の調査結果及び維持管理面を考慮して設計が行われた点については高く評価できる。
- ・迅速かつ的確に対応するなど、企業の組織体制が優れている。

◆業務概要			
委託名	砂防堰堤詳細設計業務委託 LC60-Y1		
地区名	オバコ沢		
商号又は名称	柴田工事調査株式会社		
請負額	15,543,360円	種別	詳細設計
代表者	代表取締役 柴田 昌英		
管理技術者	細川 博美		
発注公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任調査員	冨田 彰	調査員	佐藤 忠
工期	平成30年6月18日～ 令和元年9月30日	完成年月日	令和元年9月30日
概要	砂防堰堤詳細設計 1基 溪流保全工詳細設計 1式		

◆受注者の声

【業務の特徴】
 当該溪流のオバコ沢は、平成25年8月9日に発生した豪雨により土砂の流出した箇所、溪床には土砂や礫が堆積し、荒廃箇所もあるため、大雨が降ると土砂災害の発生する危険性が非常に高く早急に対策を講じる必要があった。

【技術的に気を付けた点】
 土質条件や地形形状を踏まえ、現地に最適な砂防堰堤、溪流保全工及び管理用道路を計画することに留意した。

【苦労した点】
 軟弱地盤に対し、砂防堰堤の種類と地盤改良工法の最適な組合せを選定することが課題であった。決定にあたって、発注者と協議を繰り返し、ご指導をいただき、現地に適した経済的で優位な工法を選定することができた。

【工夫した点】
 ①当初計画では、砂防堰堤上部への管理用道路と、溪流保全工の管理用道路は途中で分岐した二つのルートとする計画であった。管理用道路による周辺環境への影響を極力抑え、且つ効率的に維持管理が出来るよう、今回の計画は1ルートとした。
 ②構造協議資料の作成にあたり、発注者側のご要望を踏まえ、図示の仕方や参考資料の作成を工夫し、説明しやすい資料作りに努めた。

被災状況

INSEMダブルウォール堰堤

地盤改良（セメント改良）

当初計画

今回計画

◆発注公所の所見

本業務は、山砂防事業の砂防堰堤詳細設計業務において、砂防堰堤と溪流保全工の詳細設計を行うものである。
 業務箇所は、秋田駒ヶ岳の西南麓に位置する為、現地調査及び資料収集などの外業を降雪前に終わらせる必要がある。また、堰堤詳細においては、本省との構造協議により資料の修正作業や期限が厳しい中、説明資料の工夫や品質の高い成果品を作成して業務を完了することができた。

◆業務概要			
委託名	道路予備設計及び技術検討委員会運營業務委託 30-1790-Y1		
地区名	国道105号		
商号又は名称	セントラルコンサルタント株式会社 東北支社 秋田営業所		
請負額	54,347,000円	種別	予備設計
代表者	所長 佐藤 大起		
管理技術者	光森 泰紀		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任調査員	金澤 和春	調査員	出雲 智也
工期	平成31年3月1日～ 令和2年3月19日	完成年月日	令和2年3月19日
概要	道路予備設計(A) 12.7km 道路課題の整理 1式 費用便益分析（3便益） 1式	技術検討委員会運営 概略交通量推計	2回 1式

◆受注者の声

1. 業務概要
本業務は、国道105号大曲鷹巣道路「大覚野峠区間」について、道路幅員狭小・急勾配など現道問題や、地すべり・雪崩など自然災害へ対応することを目的とした道路構造・ルート検討、及び技術検討委員会の運営等を実施した。

2. ルート検討
技術検討委員会において、指摘大規模地すべりや地質リスク等について、調査結果を踏まえたルート検討を行った。また概略的なトンネル断面検討、換気検討、補助工法、掘削など施工方法の検討を行い実現性・リスクを整理してルートの比較検討を行った。

3. 技術検討委員会運営
学識経験者からなる技術検討委員会（平成29年度から継続）について、検討会の進め方の立案、会場の手配・設営などを行い、発注者と協力して運営にあたった。

4. 事業化資料作成
対象区間の整備の必要性として、現道課題や整備効果を見出すことを目的とし、ETC2.0などのビックデータ分析、消防本部へのヒアリングを実施し主に医療、観光などの課題を整理した。また北東北の概略交通量推計を実施し、費用便益の感度分析等を実施した。

5. 業務上の工夫点・苦労した点
様々な技術分野の検討・整理が必要であり道路をはじめ交通、橋梁、トンネル、地質などの技術者を集め体制構築した。また限られた時間の中での確実な委員会の実施のため、地質調査のコンサルで打合せを行い、そのうえで発注者及び委員会へ報告するなど手戻りの生じないよう工夫した。


写真 冬季の通行状況
(堆雪により大型車のすれ違い困難)

写真 技術検討委員会風景
(ホーリングコアを委員全員で確認中)

◆発注公所の所見

・本業務は国道105号大曲鷹巣道路のうち、大覚野峠区間に関する道路予備設計を実施し幅員狭小・急勾配区間の解消、地すべり・雪崩等の自然災害への対応を目的とした業務である。
業務の実施にあたっては道路予備設計のほか、技術検討委員会の開催・運営、別途実施した地質調査業務との調整を行うなど多岐に亘ったが、これらを一元的にマネジメントし、手戻りを生じることなく業務を完成させたことは高く評価できる。

◆業務概要			
委託名	環境調査業務委託 30-I469-Y1		
地区名	国道105号		
商号又は名称	株式会社エイト日本技術開発 東北支社		
請負額	30,711,500円	種別	詳細設計
代表者	支社長 山本 浩三		
管理技術者	築場 則昭		
発注公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任調査員	畠山 智憲	調査員	佐藤 三紀
工期	平成31年3月29日～ 令和2年3月27日	完成年月日	令和2年3月11日
概要	1. 環境調査業務 1式		

◆受注者の声	
<p>■業務の特徴 本業務は、秋田県仙北市桧木内字草峠地内において実施している道路改良事業及び道路の供用区間を対象とし、事業認定申請書に必要な環境影響評価の基礎となる環境調査を実施し、資料を作成したものである。業務実施にあたっての留意点は以下のとおりである。</p> <p>1. 調査結果の妥当性確保 対象道路は、法令及び条例に定める環境影響評価の要件に該当していないが、同法等に準じて環境影響評価を行ったものである。そのため学識経験者へのヒアリングによる調査結果の妥当性の確保が重要な要件であり、以下の方策を実施し妥当性の確保及び良好な関係を構築した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大気質測定精度確保のため、測定専用車両の使用。 ・学識経験者への説明用資料は、UAVによる空撮動画を用いて対象地域を俯瞰的に解説した。 ・動植物重要種の多種にわたる確認位置情報をGISで一元管理し、環境保全措置の検討の基礎資料とした。 <p>2. 工事の進捗状況を考慮した予測・評価 本事業は、改良済み区間び工事予定区間が混在しているため、工事の実施に伴う予測については「工事区間」及び「工事予定区間」に着目して予測を行った。その結果、哺乳類1種、鳥類4種、両生類3種、植物7種の重要種に対し、環境保全措置として「現況の雨水排水システムの保全」や「工事中の濁水の発生抑制」などの環境保全措置を実施することで影響を回避又は軽減した。また、改変区域外では特に魚類についてハナカジカやアメマスなどの地域住民の生活と密接に関係している種が広く生息しており、良好な環境が維持されていることが確認された。</p> <p>3. 確実な工程管理 本業務の現地調査項目は多岐に渡っていることから、月間調査スケジュール表による工程管理、調査実施前・後のメール連絡を実施し「迅速な現場対応」、「高い地域精通度」により安全かつ精度の高い現地調査を実施した。</p>	 <p>UAVによる対象地域の空撮</p>

◆発注公所の所見	
<ul style="list-style-type: none"> ・測定専用車両による大気質の測定、UAVによる空撮、GISによる動植物重要種の一元管理などを実施し、調査精度の向上と作業の効率化を図っている。 ・高精度かつ理解し易い資料の作成に努めるとともに、それにより、調査・予測・評価結果の妥当性について、学識経験者の理解も得ながら、適切に業務を進めることが出来た。 	

◆業務概要			
委託名	地方道路交付金事業 橋梁点検業務委託 30-FI99-Y8		
地区名	国道108号ほか		
商号又は名称	株式会社ウヌマ地域総研		
請負額	9,501,800円	種別	単純調査等業務
代表者	代表取締役 鷓沼 順之		
管理技術者	橋本 優孝		
発注公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任調査員	長谷川 彰	調査員	伊藤 雄幸
工期	令和元年8月9日～ 令和2年3月27日	完成年月日	令和2年3月27日
概要	橋梁点検 34橋		

◆受注者の声	
<p>【業務の特徴と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●橋梁点検車を使用する場合は、片側交互通行規制が必要となるが、狭隘幅員の橋梁では、大型トレーラーが通行不可となる箇所がある事が判明した。 ●前回点検で、橋梁点検車使用不可の橋梁に対して、いかにして近接目視による点検を行うかが課題となった。 <p>【課題解決に向けて工夫した点、苦労した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事前に道路利用している事業者と協議し、点検実施時間を調整(工事休止日や早朝に点検)することにより、現道交通に支障が無いよう配慮した。 ●現地踏査時に、主桁下面から河床までの距離計測の他、周辺状況を詳細に調査した上で、現地状況に即した橋梁点検車や高所作業車の型式選定、機種配置を行う事で近接目視点検を可能とした。 	
<p>【高所作業車による点検状況】</p> 	<p>【橋梁点検状況】</p> 

◆発注公所の所見	
<p>本業務は、橋梁の劣化・損傷状況を把握するための点検業務である。 現地調査に先立ち関係機関との事前協議や調整等を十分に行っており、また、地元小学生を対象に開催した建設産業担い手確保育成支援事業においては、ドローンや橋梁点検車の手配、現場体験や点検業務の重要性などについて協力いただき、建設産業の担い手確保及び育成にも寄与していただいた。</p>	

秋田県優良業務表彰 選考委員会名簿

選考委員長	副	知	事	堀井啓一
選考委員	総	務	部長	神部秀行
〃	農	林	水産部長	佐藤幸盛
〃	建	設	部長	小林賢太郎
〃	出	納	局長	柳田高人

秋田県優良業務表彰 幹事会名簿

幹事長	建設部建設産業振興統括監	佐藤和義
幹事	農地整備課長	舩谷雅広
〃	森林整備課長	戸部信彦
〃	建設政策課長	奈良滋
〃	技術管理課長	川辺透

秋田県優良業務表彰要綱

(表彰の目的)

第1条 県が発注した業務委託のうち、優秀な成績で業務を完了したものを表彰することにより、調査及び設計を行う技術者の育成・確保を図り、もって社会基盤の品質を確保することを目的とする。

(表彰の対象)

第2条 対象は、表彰実施年度の前年度に完了した業務委託とし、秋田県委託業務成績評価に基づき評価されたものとする。

(表彰の名称)

第3条 名称は、「秋田県優良業務表彰」とする。

(表彰の基準)

第4条 次のすべてを満足すること。

- (1) 当該業務の成績評価が優秀であること。
- (2) 当該業務において事故等による減点がないこと。
- (3) 当該企業における各業務の成績が良好であること。
- (4) 当該企業において各業務の成果品について瑕疵修補又は損害賠償が実施されていないこと。
- (5) 当該企業において労働災害がないこと。
- (6) 他の模範となるものと認められる業務であること。

(選考委員会)

第5条 表彰すべき業務を選定するため選考委員会を置き、その構成は別表第1のとおりとする。

2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告に基づいて協議し、表彰すべき業務を決定するものとする。

3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。

4 幹事会は、事務局が作成した優良業務表彰候補者名簿に基づいて、部門別に当該業務の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。

(表彰)

第6条 被表彰者は、受託企業の代表者（共同企業体の場合にあつては、構成員のそれぞれの代表者）及びその業務を担当した管理技術者とする。

(事務局)

第7条 事務局は、技術管理課に置く。

(補足)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

平成28年6月1日一部改訂

平成29年3月9日一部改正

平成30年3月16日一部改正

令和元年5月20日一部改正

※上記要綱内の「別表第1」及び「別表第2」の構成員は、P60の名簿参照のこと

ユタカな国へ

あきた
びじょんた

